

令和 7 年 度

学校推薦型選抜学生募集要項



福岡教育大学

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp>

目 次

福岡教育大学教育学部のアドミッション・ポリシー	1
I. 募集人員・試験日程等	5
II. 学校推薦型選抜 I（大学入学共通テストを課さない）	7
III. 学校推薦型選抜 II（大学入学共通テストを課す）	18
IV. 出願手続（学校推薦型選抜 I・II 共通）	30
V. 試験場・受験に際しての注意事項等（学校推薦型選抜 I・II 共通）	39
VI. 合格者発表	40
VII. 入学手続	41
VIII. その他共通事項	42
（参考）過去 3 年間の学校推薦型選抜状況	46

大学所在地【交通機関】【周辺道路地図】

福岡教育大学キャンパス・マップ 福岡教育大学各種お問い合わせ先

福岡教育大学教育学部のアドミッション・ポリシー

福岡教育大学は、教員養成の広域拠点大学として、これからの学校教育において、さまざまな課題の解決等に率先して取り組むことのできる教員、具体的には、

- ・ 幼児・児童・生徒の発達、自律を支援できる教員
- ・ 義務教育段階での学習の流れを見通すと同時に、幼児・児童・生徒との相互のコミュニケーションを活性化させ、深い学びへ導くことができる教員
- ・ 幼児・児童・生徒の発達を理解するとともに、個々の子どもを客観的に理解できる教員

の養成を使命としています。そのために学士課程においては、学校教育現場において求められる、1) 幅広い視野と豊かな教養、2) 高い専門性、3) 確かな実践力を培い、各学校で活躍できる人材を育てることを目標にしています。これらを実現するために本学では、各学校の教員に求められる専門性と実践的指導力を確実に習得するカリキュラムを編成しています。

<福岡教育大学では、次のような人の受験を期待します。>

- ◎教員を目指す強い意志と情熱をもち、子どもの発達や学習の支援、子どもの様々な行動のマネジメントなどに対する関心があり、主体的・積極的に、さらには多様な人々と協働して、教員となるために必要な学修に取り組むことができる人。
- ◎高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下同様。）の各教科・科目等において取り扱われる知識・技能を全般的に身に付けているとともに、それらを活用して、論理的に思考し、判断し、さらに自分の考え等を他の者に対して説明するなどの表現力があると同時に、課題解決に向けて根気よく取り組むことができる人。
さらに、中等教育段階の教員（特別支援学校を含む。）を目指す場合は、教員となって担当しようとする教科、科目に関する学力を十分に身に付けている人。
- ◎自分とは異なる価値観や考えをもつ人とも接することができるコミュニケーション力や協調性を備え、組織的な活動の中で自らの責任を果たすことのできる人。
- ◎初等教育教員養成課程、特別支援教育教員養成課程初等教育プログラムでは、すべての教科等を教育することができる基礎的な知識が備わっているとともに、教科等横断的、異分野融合的な知を習得できる柔軟な思考力が備わっている人。さらには小学校高学年での教科担任制に対応できる基礎的な知識が備わっている人。
- ◎中等教育教員養成課程、特別支援教育教員養成課程中等教育プログラムでは、特定の教科を教育することができる基礎的な知識が備わっている人。さらには、教科等横断的、異分野融合的な知を修得できる柔軟な思考力が備わっている人。

<福岡教育大学の入学者選抜では、次のような力を評価します。>

ディプロマ・ポリシーに掲げた内容の修得には、教職への意欲があることを前提として、高等学校段階までに身に付けるべき基礎的な知識及び技能を身に付けており、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等、および主体的に学修に取り組む態度が身につけていることが求められますので、本学では、すべての入試区分において、これらの要素が身につけているか否かを評価します。

以下では、募集単位ごとに、入学者選抜において課す科目等およびそれぞれで主に評価する点を示します（表中の※がついた科目については、「高度な記述式問題」を含みます）。また、「科目等」の欄に「調査書」がある場合には、調査書の「全体の学習成績の状況」が一定以上であれば、一定の点数を加点することを示します。

なお、個別学力試験等で課す「小論文」では、高等学校段階において本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価します。また「面接」では、教職への意欲、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価します（高等学校長からの調査書を活用する場合があります。）。

(別紙) 入学者選抜において課す科目等およびそれぞれで主に評価する点

1. 大学入学共通テスト

課程・プログラム・専攻等	試験	科目等	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性
全課程共通	大学入学共通テスト		○	○	

2. 個別学力検査等

課程・プログラム・専攻等	試験	科目等 (※:「高度な記述式問題」含む)	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性	教職への意欲	コミュニケーション力	備考
初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム	推薦Ⅰ 面接	○	○	○	○	○	前期については、調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について5点加点を行う。
		前期日程 小論文 ※	○	○	○	○	○	
		調査書	○	○	○		○	
	小学校教育専攻プログラム	推薦Ⅰ 小論文 ※	○	○	○	○	○	前期および後期については、調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加点を行う。
		面接			○	○	○	
		前期日程 小論文 ※	○	○	○	○	○	
		調査書	○	○	○			
		後期日程 小論文 ※	○	○	○	○	○	
		調査書	○	○	○			
	人文・社会教育プログラム	推薦Ⅱ 面接				○	○	調査書、志望理由書を総合して教職への意欲等を評価し、最大25点加点する。
		調査書・志望理由書	○	○	○	○	○	
		(国語系科目) 前期日程 国語 ※	○	○	○		○	
		調査書・志望理由書	○	○	○	○	○	
		(社会科系科目) 前期日程 小論文 ※	○	○	○		○	
		調査書・志望理由書	○	○	○	○	○	
		(英語系科目) 前期日程 英語 ※	○	○	○		○	
		調査書・志望理由書	○	○	○	○	○	
		後期日程 小論文 ※	○	○	○		○	
		調査書・志望理由書	○	○	○	○	○	
	理数教育プログラム	前期日程 数学または理科 ※	○	○				後期の口頭試問は、数学または理科に関するもの。
		面接			○	○	○	
		後期日程 小論文 ※	○	○				
	芸術・実技教育プログラム	面接(口頭試問を含む。)		○	○	○	○	調査書については、欄外「注1」のとおり。
	音楽系科目	推薦Ⅱ 実技検査	○	○	○		○	
		面接	○		○	○	○	
		音楽理論 ※	○	○				
		調査書 注1	○		○			
		前期日程 実技検査	○	○	○		○	
		面接	○		○	○	○	
		音楽理論 ※	○	○				
		調査書 注1	○		○			
	美術系科目	推薦Ⅱ 実技検査	○	○				調査書については、欄外「注1」のとおり。
		面接	○		○	○	○	
		調査書 注1	○		○			
		前期日程 小論文 ※	○	○				
		実技検査	○	○				
		面接	○		○	○	○	
		調査書 注1	○		○			

課程・プログラム・専攻等			試験	科目等 (※:「高度な記述式問題」含む)	知識・ 技能	思考力・判断 力・表現力	主体性	教職へ の意欲	コミュニ ケーション力	備考
初等 教育 教員 養成 課程	芸術・ 実技教育 プログラム	体育系科目	推薦Ⅱ	実技検査	○	○				調査書については、欄外「注1」のと おり。
				面接	○		○	○	○	
				調査書 注1	○		○			
			前期日程	実技検査	○	○				
				面接	○		○	○	○	
				保健体育に関する理論 ※ 調査書 注1	○	○				
		家庭系科目	推薦Ⅱ	面接	○		○	○	○	調査書については、欄外「注1」のと おり。
				口頭試問	○	○	○		○	
				調査書	○		○			
			前期日程	小論文 ※	○	○	○			
				面接	○		○	○	○	
				調査書 注1	○		○			
		技術ものづく り系科目	推薦Ⅱ	面接	○		○	○	○	調査書については、欄外「注1」のと おり。 総合面接は、小論文と口頭試問を含 む。
				総合面接 ※	○	○	○	○	○	
				調査書 注1	○		○			
			前期日程	面接	○		○	○	○	
				総合面接 ※	○	○	○	○	○	
				調査書 注1	○		○			
中等 教育 教員 養成 課程	中等教育 プログラム	国語専攻	前期日程	国語 ※	○	○	○		○	調査書、志望理由書を総合して教職への意欲 等を評価し、最大25点加点する。
				調査書・志望理由書	○	○	○	○	○	
		社会科専攻	前期日程	小論文 ※	○	○	○		○	調査書、志望理由書を総合して教職への意欲 等を評価し、最大25点加点する。
				調査書・志望理由書	○	○	○	○	○	
		数学専攻	前期日程	数学 ※	○	○				
				面接			○	○	○	
			後期日程	数学 ※	○	○				
				面接			○	○	○	
		理科専攻	前期日程	理科 ※	○	○				
				面接			○	○	○	
			後期日程	小論文 ※	○	○				
				面接（口頭試問を含む。）	○	○	○	○	○	
		英語専攻	前期日程	英語 ※	○	○	○		○	調査書、志望理由書を総合して教職への意欲 等を評価し、最大25点加点する。
				調査書・志望理由書	○	○	○	○	○	
		音楽専攻	推薦Ⅰ	小論文	○	○		○		前期日程については、調査書の学習成 績の状況が4.5以上の者について10点加 点を行う。
				実技検査	○	○	○		○	
				音楽理論 ※	○	○				
			前期日程	小論文	○	○		○		
				実技検査	○	○	○		○	
				音楽理論 ※ 調査書	○	○	○			

課程・プログラム・専攻等			試験	科目等 (※:「高度な記述式問題」含む)	知識・ 技能	思考力・判断 力・表現力	主体性	教職へ の意欲	コミュニ ケーション力	備考
中等教育 プログラム 養成課程	美術専攻	推薦Ⅰ	実技検査		○	○				調査書は、芸術活動、ボランティア活動、部活動、地域貢献等の課外活動の多様な実績を評価し最大5点加点する。
			面接				○	○	○	
			美術理論 ※		○	○				
			調査書		○		○	○		
		前期日程	小論文 ※		○	○				
			実技検査		○	○				
			面接				○	○	○	
			調査書		○		○			
	保健体育専攻	推薦Ⅰ	小論文		○	○				調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加点を行う。
			実技検査		○					
			面接(口頭試問を含む。)		○	○	○	○	○	
			調査書		○		○			
		前期日程	実技検査		○					
			面接		○	○	○	○	○	
			保健体育に関する理論 ※		○	○				
			調査書		○		○			
	家庭専攻	推薦Ⅱ	面接(口頭試問を含む。)		○	○	○	○	○	
		前期日程	小論文 ※		○	○	○			
	技術専攻	推薦Ⅰ	総合面接 ※		○	○	○	○	○	総合面接は、小論文、口頭試問を含む。面接は資料作成を含む。
		前期日程	面接 ※		○	○	○	○	○	
	書道専攻	推薦Ⅰ	小論文 ※		○	○				調査書は、国語の学習成績の状況が4.0以上の者について10点加点を行う。
			実技検査		○	○				
			面接(口頭試問を含む。)		○	○	○	○	○	
			調査書		○	○	○			
		前期日程	小論文 ※		○	○				
			実技検査		○	○				
			面接		○	○	○	○	○	
			調査書		○	○	○			
特別支援教育 養成課程	特別支援教育初等教育 プログラム	推薦Ⅱ	面接(口頭試問を含む。)			○	○	○	○	前期の面接は、ABCの3段階で評価する。後期については、調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加点を行う。
		前期日程	小論文 ※			○				
		後期日程	面接				○	○	○	
			調査書				○	○	○	
	特別支援教育中等教育 プログラム	前期日程	小論文 ※			○				前期の面接は、ABCの3段階で評価する。後期については、調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加点を行う。
			面接				○	○	○	
		後期日程	小論文 ※			○	○	○	○	
			調査書				○		○	

注1：調査書について、配点は10点とし、以下①②の合計とする。

①学習成績の状況が4.5以上の者について5点加点を行う。

②芸術に関する活動(作品展、コンクール受賞歴など)、体育・スポーツ活動、家庭科に関する活動、技術ものづくりに関わるこれまでの取り組み、あるいはボランティア活動等の多様な実績を評価し、0点～5点までの範囲内で点数化する。

I. 募集人員・試験日程等

1. 募集人員

募集人員 課程及びプログラム・専攻等			募 集 人 員	
			学校推薦型選抜Ⅰ (大学入学共通 テストを課さない)	学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通 テストを課す)
初等教育 教員養成課程	幼児教育プログラム		8 名	
	小学校教育専攻プログラム		2 4 名	
	人文・社会教育プログラム 【注1】			1 0 名
	芸術・実技教育 プログラム 【注1】 【注2】	(音楽系科目)		7 名程度
		(美術系科目)		5 名程度
		(体育系科目)		1 0 名程度
		(家庭系科目)		8 名程度
		(技術ものづくり系科目)		5 名程度
中等教育 教員養成課程	中等教育 プログラム	音楽専攻	7 名	
		美術専攻	5 名	
		保健体育専攻	6 名	
		家庭専攻		3 名
		技術専攻	2 名	
		書道専攻	3 名	
特別支援教育 教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム			5 名
合 計			5 5 名	5 3 名

注1

初等教育教員養成課程の次のプログラムでは、1年次から主専攻（小学校教育）について学修し、副専攻については、入学後（2年進級時）に下表に示す領域のうちから選択して学修します。なお、副専攻の領域には受け入れが可能な人数の上限がありますので、希望通りに選択できない場合があります。

対象の課程及びプログラム名	副専攻の領域
初等教育教員養成課程 人文・社会教育プログラム	国語領域，社会領域，英語領域
初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム	音楽領域，美術領域，保健体育領域，家庭領域，技術領域

注2

初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラムでは、個別学力検査等において選択する受験科目パターンごとに募集人員の目安を示しています。受験科目パターンごとの試験内容は、学校推薦型選抜Ⅰは9ページを、学校推薦型選抜Ⅱは22ページをご覧ください。

2. 試験日程等

	学校推薦型選抜Ⅰ (大学入学共通テストを課さない)	学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを課す)
出願期間	令和6年11月 1日(金)～11月 8日(金) <u>(17時必着)</u>	
試験日	令和6年11月30日(土)～12月 1日(日)	
共通テスト成績 請求票提出期限 (学校推薦型選抜Ⅱのみ)		令和6年12月20日(金)まで
合格者発表	令和6年12月11日(水)	令和7年 2月10日(月)
入学手続期限	令和6年12月25日(水) 必着	令和7年 2月19日(水) 必着

Ⅱ．学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

1．出願資格・要件等

各課程及びプログラム・専攻等の出願資格・要件等は、次のとおりです。なお、同一生徒が学校推薦型選抜Ⅰと学校推薦型選抜Ⅱを併願することはできません。

（１）初等教育教員養成課程 幼児教育プログラム

令和7年3月高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定等により、令和6年度中に卒業を認められる者を含む。）で、次の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし、教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。

募集人員	8名
選抜方法	大学入学共通テストを利用せず、推薦書、調査書、志望理由書、面接等により選抜します。
出願要件・推薦の条件等	・調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 ・幼稚園教員となる強い意志をもつ者 ・合格した場合は、入学することを確約できる者
その他	・各高等学校長が推薦できる人員は1校につき1名です。

（２）初等教育教員養成課程 小学校教育専攻プログラム（九州地区（九州・沖縄各県）対象の地域創生推薦選抜）

所在地が九州地区の高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和7年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定等により、令和6年度中に卒業を認められる者を含む。）で、次の出願要件・推薦の条件等をすべて満たす者。さらに、学業成績、人物が優れているとともに、小学校教育についての熱意を持ち、将来、小学校教員に就くことに強い意欲を持つ者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。

募集人員	24名（九州地区に所在する高等学校を卒業見込みの者）
選抜方法	大学入学共通テストを利用せず、推薦書、調査書、志望理由書、小論文及び面接等により選抜します。
出願要件・推薦の条件等	・卒業する高等学校の所在する県で小学校教員となる強い意欲、熱意、適性、資質・能力等を持つ者（本選抜は、各地域の創生には資質・能力の高い小学校教員の円滑な確保が望まれること等を背景として実施するものです。） ・調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者（3年間を通して全ての教科・科目の評定で3未満のものが無いこと） ・高等学校在学中に、学校教育活動として、学校行事、生徒会活動、部活動、ボランティア活動等に積極的に取り組んだ者（3年間を通じた主体性や協働性、運営等での貢献、リーダーシップ、人間関係づくり等を評価する） ・合格した場合は、入学することを確約できる者
その他	・各高等学校長が推薦できる人員は1校につき1名です。

（３）中等教育教員養成課程 中等教育プログラム

令和7年3月高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定等により、令和6年度中に卒業を認められる者を含む。）**また、音楽専攻及び美術専攻については、令和6年3月以降高等学校を卒業した者を含む。**）で、志望する専攻の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし、教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。

音楽専攻	募集人員	7名
	選抜方法	大学入学共通テストを利用せず、推薦書、調査書、志望理由書、小論文、実技検査及び音楽理論等により選抜します。
	出願要件・推薦の条件等	・調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者 ・教員となる強い意志をもつ者 ・合格した場合は、入学することを確約できる者
美術専攻	募集人員	5名
	選抜方法	大学入学共通テストを利用せず、推薦書、調査書、志望理由書、作品証明書、実技検査、面接及び美術理論等により選抜します。
	出願要件・推薦の条件等	・調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者 ・教員となる強い意志をもつ者 ・合格した場合は、入学することを確約できる者
保健体育専攻	募集人員	6名
	選抜方法	大学入学共通テストを利用せず、推薦書、調査書、志望理由書、競技歴調査書、小論文、実技検査及び面接（口頭試問を含む。）等により選抜します。
	出願要件・推薦の条件等	・調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者 ・陸上競技、バレーボール、硬式野球、ダンス、柔道、剣道の全国大会若しくはブロック大会（九州、中国、四国、関西等の都道府県大会よりも上位に位置づく大会を指す）に出場した者 ※ここでの「出場した者」とは、当該大会で実際にプレーしたことを指します。当該大会にエントリーされているだけでは、出願要件を満たしません。 ・教員となる強い意志をもつ者 ・合格した場合は、入学することを確約できる者
技術専攻	募集人員	2名
	選抜方法	大学入学共通テストを利用せず、推薦書、調査書、志望理由書、総合面接（小論文、口頭試問を含む。）等により選抜します。
	出願要件・推薦の条件等	・調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 ・教員となる強い意志をもつ者 ・合格した場合は、入学することを確約できる者
書道専攻	募集人員	3名
	選抜方法	大学入学共通テストを利用せず、推薦書、調査書、志望理由書、作品証明書、小論文、実技検査及び面接（口頭試問を含む。）等により選抜します。
	出願要件・推薦の条件等	・調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上で、かつ「芸術（書道）」もしくは「学校設定科目（書道）」、いずれかの学習成績の状況が4.5以上の者 ・教員となる強い意志をもつ者 ・合格した場合は、入学することを確約できる者

2. 入学者選抜方法等

大学入学共通テストを利用せず、提出された推薦書、調査書、志望理由書、作品証明書、競技歴調査書及び【別表1】に定める選抜方法等により選抜します。実技検査の内容は10～14ページを参照してください。なお、合格者の選考は、次のとおり行います。

（ア）小論文、各種理論、実技検査、面接等の成績の合計得点順に可否を決定します。

（イ）合格最低点での同点者は全員合格とします。

【別表1】学校推薦型選抜Ⅰ 個別学力検査等の科目・配点等

◎令和7年度学校推薦型選抜Ⅰにおいて、本学が実施する個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合は選抜の対象としません。

課程及びプログラム・専攻等			募集人員	個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等							
				科目名等	小論文	実技検査	面接	理論	総合面接	調査書	配点 合計
初等教育 教員養成課程	幼児教育プログラム		8 名	面接			200				200
	小学校教育専攻プログラム		2 4 名	小論文 面接	200		200				400
中等教育 教員養成課程	中等教育プログラム	音楽専攻	7 名	小論文 実技検査 音楽理論 ※①	100	500		100			700
		美術専攻	5 名	実技検査 面接 美術理論 ※② 調査書 ※③		100	100	100		5	305
		保健体育専攻	6 名	小論文 実技検査 面接(口頭試問を含む。) 調査書 ※④	100	300	100			10	510
		技術専攻	2 名	総合面接(小論文, 口頭試問を含む。)					300		300
		書道専攻	3 名	小論文 実技検査 面接(口頭試問を含む。) 調査書 ※⑤	100	300	100			10	510

【注意事項】

- ※① 「音楽理論」は、楽典及び音楽史・音楽理論全般について出題します。
- ※② 「美術理論」は、美術史(日本・西洋美術史, 近代デザイン史, 映像メディア史及び現代までの美術)について出題します。
- ※③ 「調査書」は、芸術活動, ボランティア活動, 部活動, 地域貢献等の課外活動の多様な実績を評価し, 0～5点の範囲内で加点します。
- ※④ 「調査書」は、全体の学習成績の状況が4. 5以上の者について10点加点します。
- ※⑤ 「調査書」は、国語の学習成績の状況が4. 0以上の者について10点加点します。

実技検査の内容

※該当の課程及びプログラム・専攻等のみ記載しています。個別学力検査等は1科目でも受験しなかった場合は選抜の対象としません。科目や配点の詳細は9ページを確認してください。

①	中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	音楽専攻	・・・・・・・・	P 1 0 ～ 1 1
②	中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	美術専攻	・・・・・・・・	P 1 2
③	中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	保健体育専攻	・・・・・・・・	P 1 2
◎	実技検査（体育）受験上の注意			・・・・・・・・	P 1 3
④	中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	書道専攻	・・・・・・・・	P 1 4

① 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 音楽専攻

受験者は、以下に示した【Ⅰ】，【Ⅱ】をすべて受験してください。

【Ⅰ】共通音楽実技課題

※受験者は、3部門（1. 視唱，2. 声楽，3. ピアノ）を必ず演奏してください。

1. 視唱

コールユーブンゲン第1巻，原書 No.1～No.59 までの中から，当日指定したものを演奏してください。

2. 声楽

以下の歌曲より任意の1曲を選び，**暗譜**で演奏してください。

・ Lasciar d'amarti	ガスパリーニ作曲	(へ短調)
・ Star vicino	ローザ作曲	(イ長調)
・ L'ultima canzone	トスティ作曲	(へ長調)
・ O del mio amato ben	ドナウディ作曲	(変イ長調)

※（ア）歌曲を指定以外の調で演奏する者は，伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。

（イ）演奏は，原語とします。

（ウ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

3. ピアノ

J.S.バッハ作曲の以下に指定した作品番号より任意の1曲を選び，演奏してください。

- ・ インヴェンション BWV772～BWV786（ただし，BWV772 ハ長調，BWV773 ハ短調，BWV774 ニ長調，BWV775 ニ短調，BWV779 ヘ長調，BWV781 ト長調は除く）
- ・ シンフォニア BWV787～BWV801（ただし，BWV791 変ホ長調は除く）
- ・ 平均律クラヴィーア曲集 第1巻 BWV846～BWV869 のフーガ
- ・ 平均律クラヴィーア曲集 第2巻 BWV870～BWV893 のフーガ

※（ア）繰り返しはすべて省略してください。

（イ）演奏は，暗譜でなくても構いません。

（ウ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

（次ページへ続く）

【Ⅱ】選択音楽実技課題

※以下の1. から4. までの4種類の受験方法の中から一つを選択して受験してください。

1. ピアノで受験する者

L.v.ベートーヴェン作曲ピアノ・ソナタより任意の1曲を選び、その第1楽章又は終楽章を演奏してください。

ただし、Op.26, Op.27-1, Op.27-2（第1楽章）, Op.49-1, Op.49-2, Op.54, Op.79 は除きます。

※（ア）繰り返しはすべて省略してください。

（イ）演奏は、暗譜でなくても構いません。

（ウ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

2. 声楽で受験する者

任意の歌曲（オペラ又はオラトリオのARIAを含む）を1曲、暗譜で演奏してください。

ただし、【Ⅰ】共通音楽実技課題 2. 声楽で課題として指定した曲を除きます。

※（ア）伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。

（イ）演奏は原語とし、演奏時間は4分以内とします。

（ウ）歌曲の調については自由ですが、オペラ又はオラトリオのARIAについては、原調で演奏してください。

（エ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

3. 管楽器又は弦楽器で受験する者

任意の1曲又は、一つの楽章を選び演奏してください。

なお、選択できる楽器は以下の通りです。

フルート、オーボエ、クラリネット（標準サイズB♭管又はA管）、バスーン、ホルン、
トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、ヴァイオリン、ヴィオラ、
チェロ、コントラバス

※（ア）繰り返しはすべて省略してください。

（イ）試験の際に伴奏を付けるので、伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。無伴奏の場合は、伴奏楽譜の提出の必要はありません。

（ウ）演奏は、暗譜でなくても構いません。

（エ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

4. 作曲で受験する者

4声体による和声課題（バス課題、ソプラノ課題又はその混合課題とし、非和声音を含む程度）を1題課します。

【試験時間 120分】

② 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 美術専攻

鉛筆画を課します。（静物）

- ※（ア）鉛筆，消し具，はかり棒等，鉛筆画に必要な用具を持参してください。
- （イ）画架，画板，画紙，画鋸は大学側で準備します。
- （ウ）描画補助具として，はかり棒のみ使用を認めます。

③ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 保健体育専攻

※ 13 ページの「◎実技検査（体育）受験上の注意」も必ず読んでください。

○ 特技種目

陸上競技，バレーボール，硬式野球，ダンス，柔道，剣道

上記の種目の中から 1 種目を選択し，その競技歴を本学所定の競技歴調査書に記入し，志願票兼出願確認票等とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した特技種目については，出願後変更できません。

★ 「競技歴調査書」には，受験者本人の競技大会及び試合への出場や成績を客観的に証明できる資料を添付することが**必要**です。ただし，**用紙はA4サイズとし，両面印刷で3枚以内**とします。

例 1 新聞・雑誌記事（本人の氏名や写真のあるもの）

※上記を利用する場合は，出版元に利用方法や利用の可否を確認してください。提出の際はA4用紙に切り貼りし，コピーしたものを作成してください。

例 2 大会・試合・競技会記録（本人の競技成績や出場した記録が記載されているもの）

例 3 当該競技主催団体が公印にて受験者本人の出場や成績を証明している文書

なお，競技会への参加申込書や登録選手一覧などの資料は，実際に競技したことを証明する資料にはなりません。また，段位認定証等，競技歴に直接関係ない資料は提出を要しません。

◎実技検査（体育）受験上の注意

- (ア) 試技する際に着用するすべてのウェアの胸部と背部の両面にゼッケンとして白布（縦20cm×横30cm）を必ず縫いつけ、約1.5cm幅の黒字で受験番号の下3桁をできる限り大きな文字で記入してください。

記入の仕方：○には受験番号下3ケタを書いてください。

中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻・・・・・・・・「中体○○○」

ただし、次の場合は注意してください。

- ・柔道の場合は、背部のみに縫いつけてください。
- ・剣道の場合は、袋状のゼッケンを作成し、タレの前面にかぶせるようにしてください。
- ・ダンスの場合は、何も縫いつけなくて構いません。

- (イ) 特技種目で使用するウェア、シューズ（野球及び陸上競技のスパイクを含む）、剣道具、竹刀、槍、バット（金属可）、グローブ等の個人用具は、すべて各自持参してください。

ダンスで特技種目を受験する者は、自由なテーマに基づく創作作品（2分以上2分55秒以内）を用意し、音楽については、CD（CD-R）、USBメモリを必ず用意してください。（ただし、無音も可。）

なお、作品用衣装がある場合は、着用して演技してください。また、CDについては、パソコンを除く一般の音楽再生機器（CDプレーヤー等）で再生できることを確認のうえ、持参してください。

（CDが再生できない場合は、無音での実技となります。）

- (ウ) 体育館シューズと屋外用シューズを持参してください。

以上のようなことが守られていなければ試技ができないこともあります。

④ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 書道専攻

受験者は、以下に示した【Ⅰ】，【Ⅱ】をすべて受験してください。

【Ⅰ】臨書課題

用紙は画仙紙半切，半紙等を使用します。

【Ⅱ】創作課題

用紙は画仙紙全紙とします。

（自由に切って表現しても構いません。ただし，全紙1／4より大きい作品にしてください。）

※（ア）筆，墨，硯，下敷，文鎮，ペーパーナイフなど揮毫上必要な用具を持参してください。

用紙は当日配布します。また，持参した用紙は，使用できません。

（イ）罫線が印刷された下敷は使用できません。

（ウ）以下の条件をすべて満たす書籍に限り，字典の持ち込みを認めます。

① 書籍販売されていること。

② 古典作品を集字したもの。

③ 五書体全てを含んでいるもの。

④ 特定の人物の書を集字したものではないこと。（例 趙之謙字典，王鐸字典などは不可）

3. 評価の観点

課 程	プログラム・専攻		観 点 等
初等教育 教員養成 課程	幼児教育プログラム		■ 面接は，集団で行います。本プログラムへの志望動機等を短く述べてもらい，提示されたテーマについて討論してもらいます。この面接で，幼児教育者になろうとする意欲，大学での学修への意欲，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，思考力，判断力，表現力等を総合的に評価します。
	小学校教育専攻プログラム		◆ 小論文は，教育に関わる内容を出題します。教育に対する関心や問題意識，読解力及び論理的に思考し自らの考えを適切に表現する文章構成力等を評価します。 ■ 面接は，集団（集団討論を含む。）で行います。教職への意欲，大学での学修への意欲や主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度，表現力，コミュニケーション力等を評価します。
中等教育 教員養成 課程	中等教育 プログラム	音楽専攻	◆ 小論文は，音楽教育に関わる内容を出題します。設問に所定の字数で論述解答してもらい，認識力，創造力，文章力等に重点をおいて評価します。 ◇ 実技検査は，演奏に関して，楽譜の読み方が適切になされているかどうか，必要とされる演奏の技術を十分に練り上げているかどうか，音楽的な表現をどの程度達成できているか等の観点から，総合的に評価します。 音楽実技検査票は，音楽実技検査の準備等のために提出を求めるものであり，その記載内容が評価を左右することはありません。
		美術専攻	◇ 実技検査は，平面における基礎的描写力や構成力等の基礎的資質について，総合的に評価します。 ■ 面接は，個別で行います。美術に関する活動経験や体験，教育に対する意欲等を述べてもらい，本専攻で学ぶための適性を総合的に評価します。 ● 調査書は，美術に関する活動，及びボランティア活動，部活動，地域貢献等の多様な実績を評価し，0～5点の範囲内で加点します。

課 程	プログラム・専攻		観 点 等
中等教育 教員養成 課程	中等教育 プログラム	保健体育 専攻	◆ 小論文は，出題に対する自己の考えを表現するための基本的な文章構成の力量を問います。 ◇ 実技検査は，特技種目の特性に応じた基本的技能や応用的技能（個人的技能や集団的技能を含む。）について評価します。 競技歴調査書は，高等学校での特技種目の競技成績を審査し，本専攻における修学への適性を判定します。 ■ 面接（口頭試問を含む。）は，個別で行います。志望動機，過去の運動経験，特技種目の特性，保健体育に関する基礎的知識やスポーツ・学校教育に関する一般的事項，及び体育・スポーツ科学に対する将来への研究・学習意欲について試問し，本専攻に対する適性を総合的に評価します。 ● 調査書は，全体の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加点します。
		技術専攻	■ 総合面接は，小論文，口頭試問（個別）を含み，中学校技術（材料と加工の技術，生物育成の技術，エネルギー変換の技術，情報の技術）の内容から出題し，技術専攻で学ぶための適性，資質，能力等を総合的に評価します。
		書道専攻	◆ 小論文は，書道・書道教育に対する基礎知識や基本姿勢を問うのが出題のねらいです。与えられた課題に対する理解力，思考力，表現力等を評価します。 ◇ 実技検査は，まず，臨書課題において，高等学校芸術科書道の教科書に掲載されている種々の古名跡について，臨書表現の基礎的資質を評価します。また，創作課題においては，創作力の資質を評価します。 ■ 面接（口頭試問を含む。）は，個別で行います。書道に関する基礎的知識，制作経験，学校教育に関する一般的事項及び志望理由等を試問し，本専攻で学ぶための適性や学習意欲などを総合的に評価します。 ● 調査書は，国語の学習成績の状況が4.0以上の者について10点加点します。

- ・調査書による加点がないプログラム・専攻については，出願要件（学習成績の状況）の確認及び勉学意欲を十分備えているか等を判断するための資料にします。
- ・「高等学校」には，特別支援学校の高等部及び中等教育学校の後期課程を含みます。

4. 試験時間割

- ・ 本学ホームページにて試験会場や受験上の注意事項等について試験の1週間前までを目処にお知らせいたしますので、必ず確認してください。
- ・ 受験の際には、本学の受験票を各自でダウンロードして印刷し、必ず持参してください。
- ・ 志願者数又は試験実施上の理由等により、時間割の変更あるいは試験開始時間前に集合させることもありますので留意してください。その場合には、本学ホームページにて試験の1週間前までを目処にお知らせします。
- ・ 当該試験開始から20分経過後の遅刻者は、受験を認めません。
- ・ 本学の最寄りのJR教育大前駅には快速列車は停車しませんので、乗車の際には十分注意してください。また、必ず鹿児島本線経由の列車に乗車ください。筑豊本線（福北ゆたか線）では経路が違います。

令和6年11月30日（土）

課 程 ・ プ ロ グ ラ ム ・ 専 攻			9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	
初等教育 教員養成課程	幼児教育プログラム			面接 9:00～																
	小学校教育専攻プログラム			小論文 9:00～10:00		面接 10:30～ (注1)														
中等教育 教員養成課程	中等教育 プログラム	音楽専攻																		
		美術専攻		実技検査 9:00～12:00							美術理論 13:00～14:00			面接 14:30～						
		保健体育専攻		小論文 9:00～10:00	面接(口頭試問を含む。) 小論文終了後～						実技検査 面接(口頭試問を含む。)終了後～ (注1)									
		技術専攻										総合面接(小論文, 口頭試問を含む。) 13:00～ (注2)								
		書道専攻		小論文 9:00～10:00		実技検査 10:30～12:30					面接(口頭試問を含む。) 13:30～									

令和6年12月1日（日）

課 程 ・ プ ロ グ ラ ム ・ 専 攻			9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	
初等教育 教員養成課程	小学校教育専攻プログラム			面接 9:00～ (注1)																
中等教育 教員養成課程	中等教育 プログラム	音楽専攻		音楽理論 9:00～10:00		小論文 10:30～11:30		実技検査 12:30～ (注3)												
		保健体育専攻		実技検査 9:00～ (注1)																
		技術専攻		総合面接(小論文, 口頭試問を含む。) 9:00～ (注2)																

- 注1. 初等教育教員養成課程小学校教育専攻プログラムの面接、中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻の実技検査は、受験者が多数である場合、12月1日（日）にも実施することがあります。
その場合は、実施期日・時間等について、本学ホームページにて試験の1週間前までを目処にお知らせします。
- 注2. 中等教育教員養成課程中等教育プログラム技術専攻の総合面接（小論文、口頭試問を含む。）は、受験者数に限らず、2日間実施します。志願者は両日出席が必要です。
なお、11月30日（土）に小論文、12月1日（日）に面接及び口頭試問を実施します。11月30日（土）の終了時間は、受験票にてお知らせします。
- 注3. 中等教育教員養成課程中等教育プログラム音楽専攻の実技検査は、受験者が多数である場合、終了時刻が17時以降となることがあります。

Ⅲ. 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

1. 出願資格・要件等

各課程及びプログラム・専攻等の出願資格・要件等は、次のとおりです。なお、同一生徒が学校推薦型選抜Ⅰと学校推薦型選抜Ⅱを併願することはできません。

（1）初等教育教員養成課程 人文・社会教育プログラム

令和7年3月高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定等により、令和6年度中に卒業を認められる者を含む。）で、次の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし、教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。

募集人員	10名
選抜方法	大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書、面接等により選抜します。
出願要件・推薦の条件等	本学が指定した令和7年度大学入学共通テストの全教科・科目を受験する者 （21ページ【別表2】の「科目パターンA」を受験する者）で次の条件をすべて満たす者 ・小学校教員となる強い意欲、熱意、適性、資質・能力等を持つ者 ・調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者（3年間を通して全ての教科・科目の評定で3未満のものが無いこと） ・高等学校在学中に、学校教育活動として、学校行事、生徒会活動（評価対象：役職ではなく、3年間を通じた主体性や協働性、運営等での貢献、教師や生徒間での調整や引率力、人間関係づくり等）、部活動（評価対象：技能や大会等での成績ではなく、3年間を通じた主体性や協働性、運営等での貢献、教師や生徒間での調整や引率力、人間関係づくり等）、ボランティア活動等に積極的に取り組んだ者 ・合格した場合は、入学することを確約できる者
その他	・各高等学校長が推薦できる人員は1校につき2名以内です。

（２）初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム

令和 7 年 3 月高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）卒業見込みの者（学校教育法施行規則第 9 3 条第 3 項の規定等により、令和 6 年度中に卒業を認められる者を含む。）で、次の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし、教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。

募集人員	35 名（音楽系科目：7 名程度、美術系科目：5 名程度、体育系科目：10 名程度、家庭系科目：8 名程度、技術ものづくり系科目：5 名程度）
選抜方法	（音楽系科目）大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書、面接、実技検査及び音楽理論等により選抜します。
	（美術系科目）大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書、面接及び実技検査等により選抜します。
	（体育系科目）大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書、面接及び実技検査等により選抜します。
	（家庭系科目）大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書、面接及び口頭試問等により選抜します。
	（技術ものづくり系科目）大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書、面接及び総合面接（小論文、口頭試問を含む。）等により選抜します。
出願要件・ 推薦の条件等	本学が指定した令和 7 年度大学入学共通テストの全教科・科目を受験する者（21 ページ【別表 2】の「科目パターン A 又は B」を受験する者）で次の条件をすべて満たす者 ・小学校教員となる強い意欲、熱意、適性、資質・能力等を持つ者 ・調査書の全体の学習成績の状況が 3.5 以上の者 ・高等学校在学中に、学校教育活動として、学校行事、生徒会活動、部活動、ボランティア活動等に積極的に取り組んだ者 ・合格した場合は、入学することを確約できる者 ・小学校における音楽科教育、美術科教育、体育科教育、家庭科教育、技術ものづくり教育の一つ又は複数に関心があり、小学校における授業や学校活動等を通した人間教育に強い関心を持つ者、又は、教科の枠にとらわれない自由な発想ができる広い視野を持つ者

（３）中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 家庭専攻

令和 7 年 3 月高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）卒業見込みの者（学校教育法施行規則第 9 3 条第 3 項の規定等により、令和 6 年度中に卒業を認められる者を含む。）で、志望する専攻の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし、教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者

募集人員	3 名
選考方法	大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書及び面接（口頭試問を含む。）等により選抜します。
出願要件・ 推薦の条件等	本学が指定した令和 7 年度大学入学共通テストの全教科・科目を受験する者（21 ページ【別表 2】の「科目パターン A 又は B」を受験する者）で次の条件をすべて満たす者 ・調査書の全体の学習成績の状況が 3.7 以上の者 ・教員となる強い意志をもつ者 ・合格した場合は、入学することを確約できる者

（４）特別支援教育教員養成課程 特別支援教育初等教育プログラム

令和 7 年 3 月高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）卒業見込みの者（学校教育法施行規則第 9 3 条第 3 項の規定等により，令和 6 年度中に卒業を認められる者を含む。）で，次の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし，教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。

募集人員	5 名
選抜方法	大学入学共通テスト，推薦書，調査書，志望理由書及び面接（口頭試問を含む。）等により選抜します。
出願要件・ 推薦の条件等	本学が指定した令和 7 年度大学入学共通テストの全教科・科目を受験する者 （21 ページ【別表 2】の「科目パターン A 又は B」を受験する者）で次の条件をすべて満たす者 ・調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者 ・特別支援教育を担う教員となる強い意志をもつ者 ・合格した場合は，入学することを確約できる者

2. 入学者選抜方法等

提出された推薦書，調査書，志望理由書，【別表 2】に定める大学入学共通テスト及び【別表 3】に定める選抜方法等により選抜します。実技検査の内容は 23～25 ページを参照してください。

なお，合格者の選考は，次のとおり行います。

（ア）大学入学共通テスト，小論文，面接等の成績の合計得点順に可否を決定します。

（イ）合格最低点での同点者は全員合格とします。

【別表２】大学入学共通テストの教科・科目名・配点等

- ◎ 令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定する教科・科目を受験していなかった場合は、前期日程、後期日程においては、個別学力検査等の受験を認めません。学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）においては、選抜の対象としません。
- ◎ 外国語「英語」には、ICプレイヤーを使用する試験も含みますが、これを欠席した場合は、ICプレイヤーを使用した試験の得点を0点として取り扱います。ただし、大学入学共通テストの受験上の配慮によりこれを免除された者を除きます。

科目 パターン	教科	配点	グループ	出題科目名等
A (文系型)	国語	200		『国語』（必須）
	地理歴史	200		『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、
	公民			『地理総合／歴史総合／公共』 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）
	数学	100	①	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』から1出題科目
		100	②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』（必須）
	理科	100		『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』
	外国語	200		『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1出題科目
	情報	100		『情報Ⅰ』（必須）
〔6教科又は7教科8出題科目〕				
B (理系型)	国語	200		『国語』（必須）
	地理歴史	100		『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、
	公民			『地理総合／歴史総合／公共』 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）
	数学	100	①	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』から1出題科目
		100	②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』（必須）
	理科	200		『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』
	外国語	200		『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1出題科目
	情報	100		『情報Ⅰ』（必須）
〔6教科8出題科目〕				

【注意事項】

- 「地理歴史」及び「公民」について、『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合、出題範囲のうちいずれか2科目を選択する。
また、2出題科目を選択する場合、以下に留意した組合せとする。
・『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできない。
・『地理総合／歴史総合／公共』を選択した者は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の選択をすることはできない。
- 「数学」において、グループ①の2出題科目のうちから1出題科目を選択する。グループ②については『数学Ⅱ、数学B、数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち、3項目の内容の問題を選択し解答する。
- 「理科」において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合、出題範囲4科目のうち、いずれか2科目の内容の問題を選択し解答する。『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含め、2出題科目を受験する場合、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』で選択した科目と、同一名称を含む出題科目の組合せを選択することはできない。「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」及び「地学基礎」と「地学」の組合せをいう。
- 「外国語」の『英語』は、紙での実施に加え、ICプレイヤーを使用する試験も実施する。ICプレイヤーを使用する試験を免除された者については、紙で実施した試験の得点を2倍にした成績を採用する。
- 「地理歴史」及び「公民」、又は「理科」において、指定した教科・出題科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を採用する。ただし、募集単位により科目パターンが指定されている場合（Aパターンの場合は「理科」、Bパターンの場合は「地理歴史」及び「公民」）は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を採用する。
- 平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程履修者への経過措置として、以下の教科における経過措置科目が選択できる。
「地理歴史」については、『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』
「公民」については、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』
「数学」グループ①については、『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅰ・旧数学A』
「数学」グループ②については、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』
「情報」については、現行の選択必修科目「社会と情報」「情報の科学」に対応した『旧情報』

【別表3】学校推薦型選抜Ⅱ 大学入学共通テスト・個別学力検査等の科目・配点等

◎令和7年度学校推薦型選抜Ⅱにおいて、本学が実施する個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合は選抜の対象としません。

課程及びプログラム・専攻等			募集人員		大学入学 共通テスト 科目パターン 【別表2(P21) 参照】	大学入学 共通テスト 配点合計	個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等								大学入学 共通テスト・ 個別学力検査等 配点合計	
							科目名等	実技検査	面接	口頭試問	理論	総合面接	志望理由書・ 調査書	調査書		配点 合計
初等教育 教員養成課程	人文・社会教育プログラム		10名		A	1000	面接 志望理由書・調査書 ※①		100				25		125	1125
	芸術・実技教育 プログラム	(音楽系科目)	35名	7名程度	A又はB	1000	面接 実技検査 音楽理論 ※② 調査書 ※③	250	100		50			10	410	1410
		(美術系科目)		5名程度	A又はB	1000	面接 実技検査 調査書 ※③	300	100				10	410	1410	
		(体育系科目)		10名程度	A又はB	1000	面接 実技検査 調査書 ※③	300	100				10	410	1410	
		(家庭系科目)		8名程度	A又はB	1000	面接 口頭試問 調査書 ※③		100	300			10	410	1410	
		(技術ものづくり系科目)		5名程度	A又はB	1000	面接 総合面接（小論文、口頭試問 を含む。） 調査書 ※③		100		300		10	410	1410	
	中等教育 教員養成課程	中等教育 プログラム	家庭専攻	3名		A又はB	1000	面接（口頭試問を含む。）			200				200	1200
特別支援教育 教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム		5名		A又はB	1000	面接（口頭試問を含む。）			400					400	1400

【注意事項】

※① 「志望理由書・調査書」は、総合して、教職への意欲や人文・社会系科目（国語、社会、英語）の適正を判断し、0～25点の範囲で加点します。

※② 「音楽理論」では、楽典について出題します。

※③ 「調査書」は、配点を10点とし、次の（1）（2）の合計とします。

（1）調査書の学習成績の状況が4、5以上の者について5点加点します。

（2）芸術に関する活動（作品展、コンクール受賞歴など）、体育・スポーツ活動、家庭科に関する活動、技術ものづくりに関わるこれまでの取り組み、あるいはボランティア活動等の多様な実績を評価し、0点～5点までの範囲内で加点します。

実技検査の内容

※該当の課程及びプログラム・専攻等のみ記載しています。個別学力検査等は1科目でも受験しなかった場合は選抜の対象としません。科目や配点の詳細は22ページを確認してください。

- | | | | | | |
|---|------------|--------------|---------|----------|------|
| ① | 初等教育教員養成課程 | 芸術・実技教育プログラム | (音楽系科目) | ・・・・・・・・ | P 23 |
| ② | 初等教育教員養成課程 | 芸術・実技教育プログラム | (美術系科目) | ・・・・・・・・ | P 24 |
| ③ | 初等教育教員養成課程 | 芸術・実技教育プログラム | (体育系科目) | ・・・・・・・・ | P 24 |
| ◎ | 実技検査(体育) | 受験上の注意 | | ・・・・・・・・ | P 25 |

① 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム (音楽系科目)

受験者は、以下に示した【Ⅰ】，【Ⅱ】をすべて受験してください。

【Ⅰ】歌唱

1. 小学校歌唱共通教材

以下の4曲より任意の1曲を選び、**暗譜**で演奏してください。

- | | | | |
|---------|-------|-------|------|
| ・ふじ山 | 文部省唱歌 | (ハ長調) | 2番まで |
| ・もみじ | 文部省唱歌 | (ヘ長調) | 2番まで |
| ・スキーの歌 | 文部省唱歌 | (ト長調) | 2番まで |
| ・われは海の子 | 文部省唱歌 | (ニ長調) | 2番まで |

※(ア) 1. 小学校歌唱共通教材は指定された調で演奏してください。

(イ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

2. 歌曲

以下の歌曲より任意の1曲を選び、**暗譜**で演奏してください。

- | | | |
|-----------------|---------|--------|
| ・母 | 小松 耕輔作曲 | (変イ長調) |
| ・くちなし | 高田 三郎作曲 | (ヘ長調) |
| ・Sebben crudele | カルダーラ作曲 | (ニ短調) |
| ・La Serenata | トスティ作曲 | (ヘ長調) |

※(ア) 2. 歌曲を指定以外の調で演奏する者は、「志願票兼出願確認票」とともに伴奏楽譜を提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。

(イ) 演奏は、原語とします。

(ウ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

【Ⅱ】ピアノ

W.A.モーツァルト作曲の以下に指定した作品番号のピアノ・ソナタより任意の1曲を選び、その第1楽章を演奏してください。

KV280, KV283, KV309, KV330, KV332, KV457, KV545

※(ア) 繰り返しはすべて省略してください。

(イ) 演奏は、暗譜でなくても構いません。

(ウ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

② 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム （美術系科目）

鉛筆画を課します。（自画像）

- ※（ア）鉛筆，消し具等，鉛筆画に必要な用具を持参してください。
- （イ）鏡，画架，画板，画紙，画鋸は大学側で準備します。
- （ウ）描画補助具として，はかり棒のみ使用を認めます。

③ 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム （体育系科目）

※ 25 ページの「◎実技検査（体育）受験上の注意」も必ず読んでください。

○ 特技種目

陸上競技，バレーボール，バスケットボール，サッカー，硬式野球，ダンス，柔道，剣道

上記の種目の中から 1 種目を選択し，その競技歴を本学所定の競技歴調査書に記入し，志願票兼出願確認票等とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した特技種目については，出願後変更できません。

★ 「競技歴調査書」には，受験者本人の競技大会及び試合への出場や成績を客観的に証明できる資料を添付することができます。ただし，**用紙はA 4 サイズとし，両面印刷で 3 枚以内**とします。

例 1 新聞・雑誌記事（本人の氏名や写真のあるもの）

※上記を利用する場合は，出版元に利用方法や利用の可否を確認してください。提出の際は A 4 用紙に切り貼りし，コピーしたものを作成してください。

例 2 大会・試合・競技会記録（本人の競技成績や出場した記録が記載されているもの）

例 3 当該競技主催団体が公印にて受験者本人の出場や成績を証明している文書

なお，競技会への参加申込書や登録選手一覧などの資料は，実際に競技したことを証明する資料にはなりません。また，段位認定証等，競技歴に直接関係ない資料は提出を要しません。

◎実技検査（体育）受験上の注意

- (ア) 試技する際に着用するすべてのウェアの胸部と背部の両面にゼッケンとして白布（縦20cm×横30cm）を必ず縫いつけ、約1.5cm幅の黒字で受験番号の下3桁をできる限り大きな文字で記入してください。

記入の仕方：△には受験番号下3ケタを書いてください。

初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（体育系科目）・・・「初芸体△△△」

ただし、次の場合は注意してください。

- ・柔道の場合は、背部のみに縫いつけてください。
- ・剣道の場合は、袋状のゼッケンを作成し、タレの前面にかぶせるようにしてください。
- ・ダンスの場合は、何も縫いつけなくて構いません。

- (イ) 特技種目で使用するウェア、シューズ（野球及び陸上競技のスパイクを含む）、剣道具、竹刀、槍、バット（金属可）、グローブ等の個人用具は、すべて各自持参してください。

ダンスで特技種目を受験する者は、自由なテーマに基づく創作作品（2分以上2分55秒以内）を用意し、音楽については、CD（CD-R）、USBメモリを必ず用意してください。（ただし、無音も可。）

なお、作品用衣装がある場合は、着用して演技してください。また、CDについては、パソコンを除く一般の音楽再生機器（CDプレーヤー等）で再生できることを確認のうえ、持参してください。（CDが再生できない場合は、無音での実技となります。）

- (ウ) 体育館シューズと屋外用シューズを持参してください。

以上のようなことが守られていなければ試技ができないこともあります。

3. 評価の観点

課程	プログラム・専攻		観点等
初等教育 教員養成 課程	人文・社会教育プログラム		■ 面接は，集団で行います（討論を含みます）。教職への意欲，大学での学修への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度やコミュニケーション力等を評価します。 ● 志望理由書・調査書は，総合して，教職への意欲や人文・社会系科目（国語，社会，英語）の適正を判断し，0～25点の範囲で加点します。
	芸術・実技教育プログラム	（音楽系科目）	◇ 実技検査は，演奏に関して，楽譜の読み方が適切になされているかどうか，必要とされる演奏の技術を十分に練り上げているかどうか，音楽的な表現をどの程度達成できているか等の観点から，総合的に評価します。 音楽実技検査票は，音楽実技検査の準備等のために提出していただき，その記載内容が評価を左右することはありません。 ■ 面接は，個別で行います。教職への意欲，大学での学修への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。 ● 調査書は，①と②の合計が評点になります。 ①学習成績の状況が4.5以上の者について5点加点します。 ②芸術に関する活動（コンクール受賞歴など）を評価し，0点～5点までの範囲内で点数化します。音楽に関しては，学校内の活動（学校内の行事としての合唱の発表会，等）は評価の対象とはならず，学校外のコンクールに個人で出場し表彰されたものを評価の対象とします。また，ボランティア活動等の多様な実績を評価の対象にすることがあります。
		（美術系科目）	◇ 実技検査は，平面における基礎描写力や用具の使い方等の基本的な造形力について総合的に評価します。 ■ 面接は，個別で行います。教職への意欲，大学での学修への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。 ● 調査書は，①と②の合計が評点になります。 ①学習成績の状況が4.5以上の者について5点加点を行います。 ②美術に関する学校内外の活動（作品展，コンクール受賞歴等）を評価し，0点～5点までの範囲内で点数化します。また，ボランティア活動等の多様な実績を評価の対象にすることがあります。

課程	プログラム・専攻	観点等
初等教育 教員養成 課程	芸術・実技 教育プログラム	(体育系科目) ◇ 実技検査は、特技種目の特性に応じた基本的技能や応用的技能（個人的技能や集団的技能を含む。）について評価します。 競技歴調査書は、体育実技検査の準備等のために提出していただき、その記載内容が評価を左右することはありません。 ■ 面接は、個別で行います。教職への意欲、大学での学修への意欲、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。 ● 調査書は、①と②の合計が評点になります。 ①学習成績の状況が4.5以上の者について5点加点を行います。 ②体育・スポーツ活動を評価し、0点～5点までの範囲内で点数化します。体育・スポーツに関しては、学校内の活動（運動会等）は評価の対象とはならず、公式試合等での入賞（体育・スポーツ関係）を評価の対象とします。また、ボランティア活動等の多様な実績を評価の対象にすることがあります。
		(家庭系科目) ◇ 口頭試問は、個別で行います。家庭（家庭基礎、家庭総合）に関する事項について試問し、芸術・実技プログラムに対する適正を評価します。 ■ 面接は、個別で行います。教職への意欲、大学での学修への意欲、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。 ● 調査書は、①と②の合計が評点になります。 ①学習成績の状況が4.5以上の者について5点加点を行います。 ②家庭科に関する活動を評価し、0点～5点までの範囲内で点数化します。高等学校までの家庭科に関する学校内外の取り組みへの参画や、その内容を評価の対象とします。また、ボランティア活動等の多様な実績を評価の対象にすることがあります。

課程	プログラム・専攻		観点等
初等教育 教員養成 課程	芸術・実技 教育プログラム	(技術ものづくり系科目)	◇ 総合面接は、小論文、口頭試問（個別）を含み、技術ものづくり（設計・製作、プログラミング、エネルギーの利用、動植物の育成）の内容から出題し、芸術・実技教育プログラムで学ぶための、資質、能力等を総合的に評価します。 ■ 面接は、個別で行います。教職への意欲、大学での学修への意欲、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。 ● 調査書は、①と②の合計が評点になります。 ①学習成績の状況が4.5以上の者について5点加点を行います。 ②技術ものづくりに関わる高等学校までの取り組みや、その内容を評価し、0点～5点までの範囲内で点数化します。また、ボランティア活動等の多様な実績を評価の対象にすることがあります。
中等教育 教員養成 課程	中等教育 プログラム	家庭専攻	■ 面接（口頭試問を含む。）は、個別で行います。家庭（家庭基礎、家庭総合）に関する事項、志望動機及び修学意欲について試問し、本専攻に対する適性を評価します。
特別支援 教育教員 養成課程	特別支援教育 初等教育プログラム		■ 面接（口頭試問を含む。）は、個別に実施します。本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力・判断力・表現力・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価します。

- ・調査書による加点がないプログラム・専攻については、出願要件（学習成績の状況）の確認及び勉学意欲を十分備えているか等を判断するための資料にします。
- ・「高等学校」には、特別支援学校の高等部及び中等教育学校の後期課程を含みます。

4. 試験時間割

- ・ 本学ホームページにて試験会場や受験上の注意事項等について試験の1週間前を目処にお知らせしますので、必ず確認してください。
- ・ 受験の際には、本学の受験票を各自でダウンロードして印刷し、必ず持参してください。
- ・ 志願者数又は試験実施上の理由等により、時間割の変更あるいは試験開始時間前に集合させることもありますので留意してください。その場合には、本学ホームページにて試験の1週間前までを目処にお知らせします。
- ・ 当該試験開始から20分経過後の遅刻者は、受験を認めません。
- ・ 本学の最寄りのJR教育大前駅には快速列車は停車しませんが、乗車の際には十分注意してください。また、必ず鹿児島本線経由の列車に乗車ください。筑豊本線（福北ゆたか線）では経路が違います。

令和6年11月30日(土)

課 程 ・ プ ロ グ ラ ム ・ 専 攻			9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	
初等教育 教員養成課程	人文・社会教育プログラム				面接 9:30～															
	芸術・実技教育 プログラム	(音楽系科目)		面接(プログラム共通) 9:00～					実技検査 面接終了後～											
		(美術系科目)		面接(プログラム共通) 9:00～					実技検査 面接終了後～(180分)											
		(体育系科目)		面接(プログラム共通) 9:00～ (注1)					実技検査 面接終了後～ (注1)											
		(家庭系科目)		面接(プログラム共通) 9:00～					口頭試問 面接終了後～ (注1)											
		(技術ものづくり系科目)		面接(プログラム共通) 9:00～						総合面接(小論文, 口頭試問を含む。) 13:00～ (注2)										
中等教育 教員養成課程	中等教育 プログラム	家庭専攻		面接(口頭試問を含む。) 9:00～																
特別支援教育 教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム			面接(口頭試問を含む。) 9:00～ (注3)																

令和6年12月1日(日)

課 程 ・ プ ロ グ ラ ム ・ 専 攻			9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	
初等教育 教員養成課程	芸術・実技教育 プログラム	(音楽系科目)		音楽理論 9:00～9:40																
		(体育系科目)		実技検査 9:00～ (注1)								面接(プログラム共通) 実技検査終了後 (注1)								
		(家庭系科目)		口頭試問 9:00～ (注1)																
		(技術ものづくり系科目)		総合面接(小論文, 口頭試問を含む。) 9:00～ (注2)																
特別支援教育 教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム			面接(口頭試問を含む。) 9:00～ (注3)																

- 注1. 初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（体育系科目）の面接及び実技検査、初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（家庭系科目）の口頭試問は、受験者が多数である場合、2日に分けて実施することがあります。
なお、実施期日・時間等については、本学ホームページにて試験の1週間前までを目処にお知らせします。
- 注2. 初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（技術ものづくり系科目）の総合面接（小論文、口頭試問を含む。）は、受験者数に限らず、2日間実施します。志願者は両日出席が必要です。
なお、11月30日（土）に小論文、12月1日（日）に面接及び口頭試問を実施します。11月30日（土）の終了時間は、受験票にてお知らせします。
- 注3. 特別支援教育教員養成課程特別支援教育初等教育プログラムの面接は、受験者が多数である場合、2日間に分けて実施することがあります。また、集合時間を早めることがあります。
その場合は、実施期日・時間等について、本学ホームページにて試験の1週間前までを目処にお知らせします。

IV. 出願手続（学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ共通）

1. 出願期間

出願に必要な書類等の提出期間

令和6年11月 1日（金）から11月8日（金）まで（17時必着）

インターネット出願登録期間

令和6年10月25日（金）から11月8日（金）まで（17時まで）

2. 出願手順

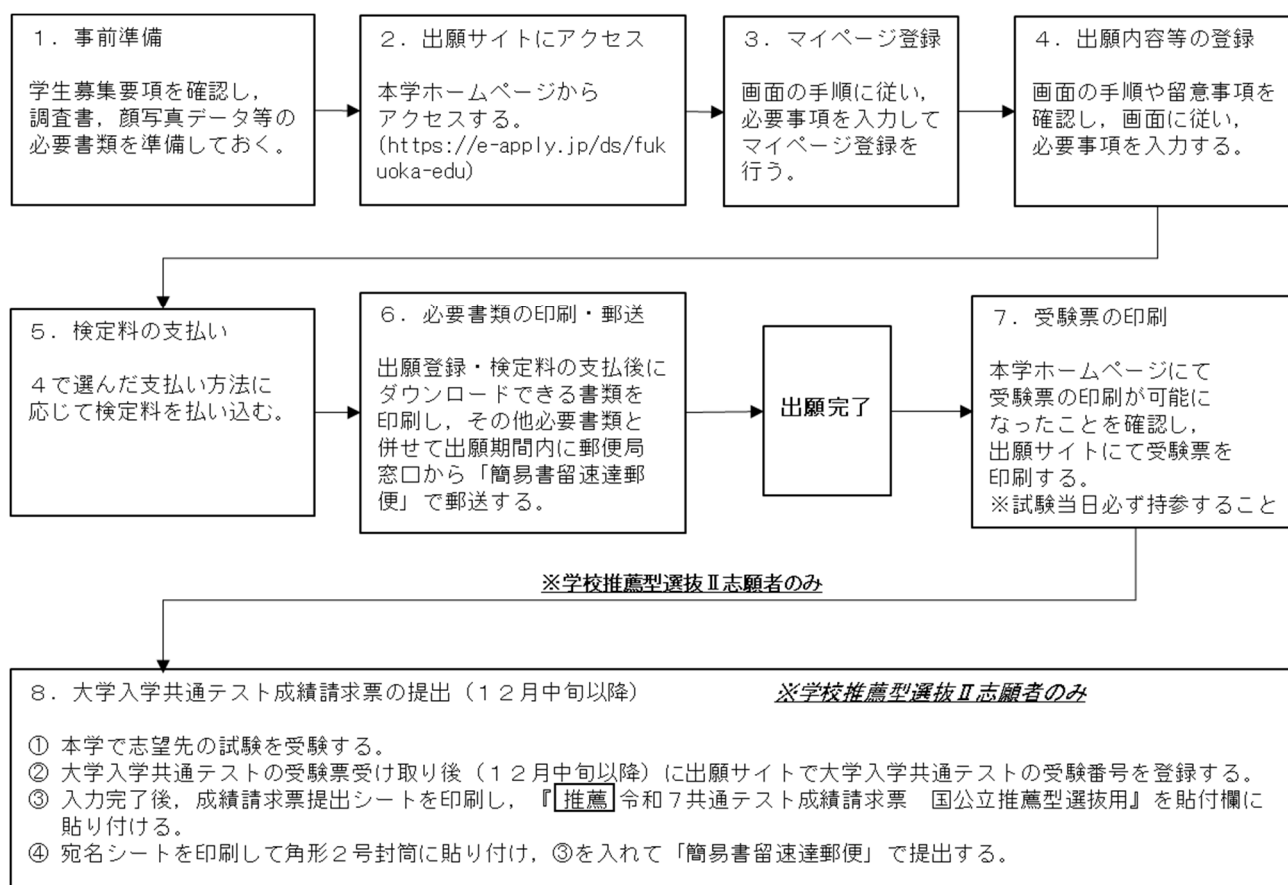
インターネットを利用した出願方法となります。なお、インターネットを利用した出願情報の登録だけでは出願手続は完了しません。出願期間内に、次の3点の手続を必ず完了する必要があります。

- ・インターネットを利用した出願登録
- ・検定料の支払い
- ・出願に必要な書類等の郵送での提出

これらを完了していない場合、受験できませんので十分ご注意ください。

なお、出願に必要な書類等は出願期間内に到着する必要があります。

出願の流れは以下のとおりです。



3. 検定料

17,000円（別途、払込手数料が発生します。）

【注意】払い込まれた検定料は、次の場合を除き返還しません。

- ①出願書類を提出しなかった場合。
- ②出願書類が受理されなかった場合。
- ③誤って二重又は過剰に納付した場合。

これらの場合は、納付した者の申し出により、検定料として払い込まれた額又は過剰に払い込まれた額のうち振込手数料等の実費を除く額を返還します。

◎入学検定料の特別措置について

本学では、被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、次のとおり入学検定料免除の特別措置を実施します。特別措置を希望される志願者（保護者等を含む）は、インターネット出願前に必ず入試課までご連絡ください。

（1）免除の対象者

令和4年4月以降に発生した大規模災害における災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する方

- ①志願者又は志願者の主たる学資負担者が居住する自宅家屋が全壊若しくは流出、大規模半壊、又は半壊若しくは床上浸水した場合
- ②主たる学資負担者が死亡又は行方不明の場合

（2）申請の方法

市町村等が証明し発行する「罹災証明書」（写し可）等、必要な書類がありますので、申請の際には本学のホームページをご確認ください。

【本学ホームページ：入学検定料の特別措置】

https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/r_fee/index.html

（3）その他

- ①入学料・授業料については、申請により免除又は徴収猶予されることがあります。入学手続き時に、別途申請手続きが必要となります。
- ②調査書が得られない場合には、卒業（見込）証明書又は成績通信簿等を提出することで代えることができます。

◎連絡先 福岡教育大学入試課 TEL 0940-35-1235

4. 出願に必要な書類等

出願書類等は、次の表のとおりです。①についてはインターネット出願サイト（<https://e-apply.jp/ds/fukuoka-edu/>）からダウンロードしてください。③～⑦については本学所定の用紙を本学のホームページ（<https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/recommendation.html>）からダウンロードしてください。

なお、⑧については、大学入学共通テスト受験票の受取後（12月中旬以降）に35～36ページの手順により、本学に提出してください。**他の出願書類とは提出時期が異なるため注意してください。**

【出願書類等の内容】

書類の名称	提出者	摘 要
①志願票兼 出願確認票	全員	インターネット出願サイトを通しての出願登録・検定料の支払完了後にダウンロードし、印刷してください。
②調査書	全員	出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 また、別紙の添付は可能ですが、調査書内に別紙がある旨を必ず記載し、調査書に同封して提出してください。
③推薦書	全員	本学所定の用紙（注１）により出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。（注３） ※作成の際は３３ページ「推薦書・志望理由書記入上の注意」をよく確認してください。
④志望理由書	全員	本学所定の用紙（注２）に志願者本人が記入し提出してください。（注３） ※作成の際は３３ページ「推薦書・志望理由書記入上の注意」をよく確認してください。
⑤音楽実技検査票	該当者	中等教育教員養成課程中等教育プログラム音楽専攻及び初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（音楽系科目）を志望する者は、本学所定の用紙（注２）により提出してください。
⑥作品証明書	該当者	中等教育教員養成課程中等教育プログラム美術専攻又は書道専攻を志望する者は、本学所定の用紙（注２）により提出してください。複数の作品を提出する場合は１作品ごとに作成してください。 ※作品写真は、現像したもの又はプリンターで出力したもののいずれでも「可」とします。
⑦競技歴調査書	該当者	中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻及び初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（体育系科目）を志望する者は、本学所定の用紙（注２）により提出してください。（注３） ※作成の際は３７・３８ページ「競技歴調査書の「特技種目の競技歴」記入上の注意等」をよく確認してください。
⑧大学入学 共通テスト 成績請求票	推薦Ⅱ 受験者	学校推薦型選抜Ⅱに出願する者は、大学入試センター発行の「 推薦 令和７共通テスト成績請求票国公立推薦型選抜用」を本学に提出してください。 提出期限：令和６年１２月２０日（金）まで ※登録方法・手順は３５～３６ページを確認してください。

注１．黒のボールペンを用いて楷書で記入、もしくはパソコン等で作成してください。

注２．黒のボールペンを用いて楷書で記入してください。

注３．③、④、⑦はＡ４サイズで両面印刷してください。

注４．出願書類は、本学での受理後、原則として返却しませんのでご注意ください。

5. 推薦書・志望理由書記入上の注意

書類の記入にあたっては本学ホームページに掲載の様式をダウンロードし、A4サイズで両面印刷してください。

推薦書

推薦理由、学業、人物、課外活動及び生活状況等についての記入は、概評ではなく具体的事実をあげて記入してください。なお、記入にあたっては、黒のボールペンを用いて楷書で記入、もしくはパソコン等で作成してください。

1. 推薦理由	アドミッション・ポリシーからみた、志願者の学習や活動の成果を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価を含めて推薦する理由を、具体的に記入してください。
2. 学 業	- 各学年ごとの学年全体での成績順位を記入してください。ただし、学年での順位を出していない場合は、学科等別の順位を記入し、括弧内に学科等母集団の名称を記入してください。 - なお、各高等学校等の事情により成績順位を記載することが困難な場合には、福岡教育大学入試課までお問い合わせください。 【例】 ○位／△△人中（特別進学コース） - 授業中及び特別活動への取組み姿勢、勉学の自発性、独創性、計画性、持続性等について具体的に記入してください。 - その他、推薦する根拠となった学業上の特別な理由があれば記入してください。
3. 人 物	人物、性格について本人の特徴をよく表現するような事実を、より一層具体的に記入してください。
4. 課外活動及び生活状況・その他	- 本人の課外活動、社会参加について特記すべきことがあれば、具体的に記入してください。 - 本人の趣味、特技、生活態度などについて、具体的に記入してください。 - 中等教育教員養成課程中等教育プログラム音楽専攻については、高等学校3か年間でのコンテスト等の入賞歴を具体的に記入してください。

志望理由書

- 志願者本人が記入してください。
- 次のプログラムを志望する者は文字数の指定に従い記入してください。その他の課程及びプログラム・専攻等を志望する者は、目盛りにとらわれずに、自由に記入して構いません。
 - ①初等教育教員養成課程人文・社会教育プログラムを志望する者
… 各行の目盛りを目安に600字以内に収まるように記入してください。
 - ②中等教育教員養成課程中等教育プログラム音楽専攻、及び書道専攻、特別支援教育教員養成課程特別支援教育初等教育プログラムを志望する者
… 各行の目盛りを目安に1,200字以内に収まるように記入してください。
- A4サイズで両面印刷してください。ただし、初等教育教員養成課程人文・社会教育プログラムを志望する場合は片面印刷でかまいません。
- 黒のボールペンを用いて楷書で記入してください。
- 作成において、ChatGPT等の生成AIを利用することは認めません。

6. 提出方法

インターネット出願サイトで出願書類提出用宛名シートをダウンロード・印刷し、市販の角形2号封筒に貼付し、出願書類を入れて、**郵便局の窓口で「簡易書留郵便」にて速達で郵送してください。**（11月8日（金）17時必着）

【出願書類等の提出宛先】

〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1番1号
福岡教育大学入試課

7. 出願に際しての注意事項

- （1）郵送期間等を十分考慮して、**出願期間内に届くよう送付してください。**（出願期間後に到着した場合は、受理できません。）
- （2）**出願書類に不備がある場合には、受理できないことがあります。**郵送する前に必ず記入内容を点検し、提出すべき全ての書類が整っているか確認してください。
- （3）**志願票兼出願確認票受理後は、住所・連絡先以外の記載事項及び書類の変更を認めません。**
- （4）出願後に住所を変更した場合は、志願者であることが確認できるもの（氏名、志望課程・プログラム・専攻等及びインターネット出願時の受付番号又は受験番号）を準備し、入試課へ連絡してください。

◎連絡先 福岡教育大学入試課 TEL 0940-35-1235

8. 大学入学共通テスト受験番号の登録方法

大学入学共通テスト受験番号の登録方法は以下のとおりです。

福岡教育大学
インターネット出願サイト

インターネット出願が初めての方はこちら
マイページ登録

既にマイページ登録済みの方はこちら
ログイン

- ①インターネット出願サイトにログインする。
URL : <https://e-apply.jp/ds/fukuoka-edu/>



マイページ
福岡教育大学へようこそ

出願手続きを行う

出願申込(出願済)

申込日時: 2022/06/26 17:00
受付番号: 220613490007
入試区分: 学校推薦型選抜Ⅱ(共通テスト)

出願票の表示 受験票の表示

申込内容を確認する

- ②マイページから「出願手続きを行う」をクリックする。

教育学部・大学院・特別専攻科選択

出願する入試の情報を正確に選択して、「次へ」ボタンを押してください。

教育学部・大学院・特別専攻科選択
教育学部

出願する入試の種類
入学区分
学校推薦型選抜Ⅱ 共通テスト受験番号入力

次へ

- ③教育学部・大学院・特別専攻科選択：「教育学部」を選択する。
④入試区分：「学校推薦型選抜Ⅱ 共通テスト受験番号入力」を選択する。

学校推薦型選抜Ⅱ 共通テスト受験番号入力

志望先等

初等教育教員養成課程 専攻科課程

人文・社会教育プログラム

大学入学共通テスト受験番号入力

大学入学共通テスト受験番号
必須 200011 - 1001X - 1

次へ

- ⑤「志望先等」をチェックする。
⑥共通テストの受験番号を入力する。

〔参考：大学入学共通テスト受験票（見本）〕

令和7年度 大学入学共通テスト受験票

受験番号 200011 1001X 1

受験科目 国語 数学 英語 理科 社会 外国語 芸術 体育 音楽 情報

受験校 京王電鉄沿線の駅「新大塚駅」西口下車、徒歩5分

入試区分 学校推薦型選抜Ⅱ

志望先 西多摩高等学校

志望先 西多摩高等学校 (2001 0101) 野田 栄太 君 (134496-20011-010001)

志望先 西多摩高等学校 (2001 0101) 野田 栄太 君 (134496-20011-010001)

出願内容確認

出願内容をご確認ください。
出願内容の登録完了後は登録内容の修正・変更はできません。

志望先

学校推薦型選抜Ⅱ 共通テスト受験番号入力

志望先等

初等教育教員養成課程 人文・社会教育プログラム

受験番号

受験番号 222999

大学入学共通テスト受験番号入力

大学入学共通テスト受験番号 200011 - 1001X - 1

画面右上にある「印刷票出願票の表示」ボタンを押下し、必ず内容を再確認してください。
ボタン押下後、登録が行えるようになります。

この内容で登録する

- ⑦入力内容を確認し、「この内容で登録する」をクリックする。

出願申込完了
出願内容の登録を受け付けました。

受付番号
231653116789

手続き手順
引き続き、出願書類の準備・郵送を進めてください。

[マイページトップへ](#)

⑧出願申込完了の画面が出たら、
「マイページトップ」へ移動する。

マイページ
福岡教育大学へようこそ

出願申込一覧

出願手続きを行う >

出願申込済(既払不償)

申込日時:	2023/12/25 10:48
受付番号:	231653116789
入試区分:	学校推薦型選抜Ⅱ 共通テスト受験番号入力 (教育学部)

[出願書類の表示](#)

⑨「出願書類の表示」をクリックする。

令和 年度 福岡教育大学
成績請求票提出シート

受付番号	231653116789
受験番号	122999
入試区分	学校推薦型選抜Ⅱ 共通テスト受験番号入力
募集単位	初等教育教員養成課程 人文・社会教育プログラム
氏名	宗像 三郎
大学入学共通テスト 受験番号	200011-1001X-1

貼付欄

令和 共通テスト成績請求票
推薦 国公立推薦型選抜用

⑩「成績請求票提出シート」を印刷し、
『推薦 共通テスト成績請求票 国公立推薦型
選抜用』を所定の貼付欄に貼り付ける。

〔参考：共通テスト成績請求票（見本）〕

令和 共通テスト成績請求票

推薦 国公立推薦型選抜用

200011-1001X-1
(ムナカタ サブロウ)

宗像 三郎

速達 811-4192

福岡教育大学
入試課
行

宗像 三郎
十二月二十二日必着

学校推薦型選抜Ⅱ
成績請求票提出中

〒811-4192
福岡県 宗像市 赤間文政町1番1号

受付番号	231653116789
受験番号	122999
入試区分	学校推薦型選抜Ⅱ 共通テスト受験番号入力
募集単位	初等教育教員養成課程 人文・社会教育プログラム
住所	〒811-4192 福岡県 宗像市 赤間文政町
氏名	宗像 三郎

⑪「宛名シート」を印刷して角形2号封筒に
貼り付け、⑩を入れて「簡易書留速達郵便」で
提出する。

9. 競技歴調査書の「特技種目の競技歴」記入上の注意等

◎中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻を志望する者は、「**2. 特技種目の競技歴**」の記入は**必須**です。

◎初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（体育系科目）を志望する者は、「**2. 特技種目の競技歴**」の記入は**任意**です。また、学校長又は協会・団体責任者の証明も不要です。

◎作成の際は、以下を参考に記入してください。

1. 出場大会名	特技種目の競技歴は、高等学校3か年間におけるものの中で、本人が出場し、競技（プレー）した大会の中で、大会レベルの高いものから、順に2つ以内を選び、その正式大会名を記入してください。 本人が大会にはエントリーされていても、実際にプレーしなかった大会は除きます。 なお、記入欄は、「①高体連主催の大会用」と「②その他の団体・協会等主催の大会用」に分かれていますが、「②その他の団体・協会等主催の大会用」に該当しないものは記載の必要がありません。これに該当するのは、ユースの全国大会やクラブの選手権大会等ですが、両方にまたがっている者は、両方の大会のそれぞれ高いレベルのものを記載してください。
2. 出場した時の学年	1. で記入した大会に出場した時の学年について記入してください。
3. 大会規模	1. で記入した大会の参加チーム数あるいは当該種目の出場選手数を記入してください。
4. 大会出場方法	1. で記入した大会への出場は、ブロック大会・県大会・地区大会などの予選を経ての出場であるかどうかについて記入してください。予選大会を経ての出場であれば、その大会レベルを記入するとともに、その予選大会での成績も記入してください。（例えば、県大会で1位となり、全国大会出場等）
5. ポジション	ポジションとは団体種目における本人の役割であり、1. で記入した大会におけるポジションとレギュラーであったかどうかを記入してください。陸上競技で受験する者は種目を記入してください。
6. 大会の成績	1. で記入した大会における成績について記入してください。（例えば、全国大会決勝トーナメント3回戦敗退ベスト8、あるいは予選リーグ敗退等）
7. 大会における試合記録	1. で記入した大会における試合記録について、対戦相手及びその結果を記入できる範囲で詳しく記入してください。
8. 添付資料番号	添付資料を切り貼りした用紙は、一枚ずつ右上の端に通し番号をつけ、「競技歴調査書」の表面を表紙にして、左上の端を一括して、ホチキスでとじて提出してください。そして、この欄には必ず右上端に記入した通し番号を記入例のように、記入してください。

【競技歴調査書の添付資料に関する注意】

- ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻は、実際にプレーしたことを証明する資料の添付が**必須**です。添付資料のない場合は、「競技歴調査書」として認められず、出願できません。
- ・初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（体育系科目）は、実際にプレーしたことを証明する資料の添付は**任意**です。
- ・実際にプレーしたことを証明する資料とは、受験者本人の競技大会及び試合への出場や成績を客観的に証明できる文書のことを指します。

例1 新聞・雑誌記事（本人の氏名や写真のあるもの）

※上記を利用する場合は、出版元に利用方法や利用の可否を確認してください。提出の際はA4用紙に切り貼りし、コピーしたものを作成してください。

例2 大会・試合・競技会記録（本人の競技成績や出場した記録が記載されているもの。賞状のコピー等も可。）

例3 当該競技主催団体が公印にて受験者本人の出場や成績を証明している文書（任意様式）

- ・競技会への参加申込書や登録選手一覧などの資料は、実際に競技したことを証明する資料にはなりません。また、段位認定証等、競技歴に直接関係ない資料は提出を要しません。

・**用紙はA4サイズとし、両面印刷で3枚以内で作成してください。**

- ・添付資料は一枚ずつ右上の端に通し番号（1，2，3）をつけ、「競技歴調査書」と一緒に左上の端をホチキスでとじて提出してください。さらに、本人及びチームのことが記載されている箇所に赤色のアンダーライン又は、ピンク若しくは黄色の蛍光ペンで目印をつけてください。

◎ 記入例

① 高体連主催の大会用

1. 出場大会名 (大会開催年月日)	2. 出場した時の 学年	3. 大会規模	4. 大会出場方法	5. ポジション (種目)	6. 大会の成績	7. 大会における 試合記録 (対戦相手とその結果等)	8. 添付資料番号
第●回全国高等学校 総合体育大会 ●●の部 (●年6月5日 ～6月6日)	2学年	25チーム	県大会で 1位となり、 全国大会出場	100kg 超級	個人戦 3位	準決勝敗退	1～3

② その他の団体・協会等主催の大会用

1. 出場大会名 (大会開催年月日)	2. 出場した時の 学年	3. 大会規模	4. 大会出場方法	5. ポジション (種目)	6. 大会の成績	7. 大会における 試合記録 (対戦相手とその結果等)	8. 添付資料番号
第●回国民体育大会 (主催者名： ：日本体育協会) (●年10月26日 ～10月31日)	3学年	24チーム	九州ミニ国体で 1位となり、 全国大会出場	大将	トーナメント 決勝進出 準決勝	決勝 対○○県 0－5	4～9

V. 試験場・受験に際しての注意事項等（学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ共通）

1. 試験場

福岡教育大学

※集合場所については本学ホームページにて試験の1週間前までを目処にお知らせします。

2. 受験に際しての注意事項等

（1）受験票について

- ①受験票は、本学ホームページにて試験の1週間前までを目処に受験票の印刷が可能となった旨をお知らせしますので、出願サイトで各自印刷のうえ、試験当日持参してください。
- ②試験当日に受験票を忘れて来た場合は、試験当日に本学が設置する試験場第1事務室にて、試験の開始前までに「仮受験票」の発行手続きをしてください。

（2）所持品の取扱いについて

- ①受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

- ・筆記用具（和歌・格言等が印刷されているものは不可）
- ・プラスチック製の消しゴム
- ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
- ・時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー、大型のものは不可。）
- ・眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）

これら以外の所持品を使用又は置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。

- ②試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

- ・定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
- ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類

これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。

なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請（42ページ）が必要です。）

（3）不正行為について

試験中に不正行為等があった者に対しては、受験を停止し、かつ、すべての試験を無効とします。

また、悪質な場合は、警察に被害届を提出する場合があります。詳細は試験の1週間前までを目処に本学ホームページに掲載する「受験上の注意事項」をよく確認してください。

（4）その他

- ①本学ホームページにて試験会場や受験上の注意事項等について試験の1週間前までを目処にお知らせいたしますので、必ず確認してください。
- ②当該試験開始時刻から20分経過後の遅刻者は、受験することができません。
- ③交通事情等を考慮し、余裕をもって試験場に到着するようにしてください。福岡県外からの受験

者は特に余裕を持って交通機関等の手配を行ってください。

- ④ 本学の最寄りのＪＲ教育大前駅には快速列車は停車しません。十分注意し乗車してください。また、必ず鹿児島本線経由の列車に乗車ください。筑豊本線（福北ゆたか線）では経路が違います。

Ⅵ. 合格者発表

合格者発表は、次のとおり行います。

選抜区分	ホームページ掲載日時
学校推薦型選抜Ⅰ	令和６年１２月１１日（水）１０時００分
学校推薦型選抜Ⅱ	令和７年 ２月１０日（月）１２時００分

※合格者の発表は、受験番号のみ掲載します。

※ホームページ上での合格発表については、以下のページから確認いただけます。

【本学ホームページ：入試案内】

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/>

※ホームページへの掲載は、本学が情報提供として行うものであり、合格者の発表はインターネット出願サイトのマイページにて通知される合格通知書にて必ず確認してください。

◎合格者は、合格者発表後に合格通知書及び入学手続関係書類をインターネット出願サイトより入手してください。郵送による通知はありませんので、注意してください。

不合格者には、特に通知しません。

【注 意】電話等による可否の問い合わせには一切応じられません。

Ⅶ. 入学手続

合格者は、所定の期日までに入学手続を完了してください。

※本手続は、郵送のみで受付をいたします。**来学による手続は受け付けておりませんのでご注意ください。**

※本学の受験票は入学手続の際に必要となりますので、紛失しないように注意してください。

※詳細については、合格発表後、インターネット出願サイトより合格者へ通知します。

1. 手続期限

選 抜 区 分	期 限
学校推薦型選抜Ⅰ	令和6年12月25日（水）必着
学校推薦型選抜Ⅱ	令和7年 2月19日（水）必着

2. 入学料・授業料

（1）入学料・授業料

入学料 282,000円

授業料 前期分 267,900円

授業料 後期分 267,900円（年額 535,800円）

①上記の金額は、変更される場合があります。

なお、在学中に授業料が改定された場合には、改定後の授業料となります。

②特別の事情（学資負担者の死亡、風水害等による被災）又は経済的理由により、納入が著しく困難であると認められるときは、願い出により、入学料・授業料の免除及び徴収猶予を認めることがあります。

【注意】「入学料の免除及び徴収猶予」の願い出は、必ず入学手続期限までに他の手続書類とあわせて提出する必要があります。

※入学料・授業料の納入方法及び入学料・授業料免除等の詳細については、入学手続関係書類にてお知らせします。

（2）その他の経費（納入金）

- ・学生教育研究災害傷害保険料
- ・学研災付帯賠償責任保険料
- ・自治会費
- ・アルバム費
- ・後援会費
- ・同窓会費

※納入方法及び金額等の詳細については、入学手続関係書類にてお知らせします。

3. 入学の辞退

合格者で、特別の事情により入学を辞退する者は、出身学校長を経由して「入学辞退願（様式任意）」を本学学長あて（入試課気付）に令和7年2月19日（水）までに提出してください。

辞退は、許可された場合に限り認められます。

Ⅷ. その他共通事項

1. 障害等のある入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する障害のある者等（下記参照）で、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、出願の前に、あらかじめ本学へ相談してください。

必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

区 分	受 験 上 及 び 修 学 上 の 配 慮 の 対 象 と な る 者
視 覚 障 害	1 点字による教育を受けている者 2 両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 3 視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 4 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
聴 覚 障 害	1 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 2 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
肢 体 不 自 由	1 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 2 両上肢の機能障害が著しい者 3 上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
病 弱	慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
発 達 障 害	学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
そ の 他	上記の区分（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱・発達障害）以外で配慮を必要とする者

※配慮の対象となる者は、大学入試センターの受験案内に準じて設定しています。

※日常生活において、ごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を持参して受験する場合も、試験場設定や他の配慮との関係から受験上及び修学上の配慮として申請することが必要となりますので注意してください。

（1）相談の期間

令和6年 9月13日（金） まで

注1. 期限後に受験上及び修学上の配慮を必要とすることとなった場合は、できるだけ早く（3）の連絡先に問い合わせてください。

注2. 申請が試験直前であったり、申請内容への対応が直ちにできないような場合には、希望する配慮を受けられないことがあります。

（2）相談の方法及び必要書類

下記事項を記載した文書（様式任意）に医師の診断書及び身体障害者手帳を有する者は、その写しを添えて申請（郵送可）してください。

ア. 試験日程（学校推薦型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅱの別）、志望課程及びプログラム・専攻等

イ. 氏名、年齢、住所、電話番号

ウ. 障害の種類・程度

エ. 受験上及び修学上の配慮を希望する事項

オ. 在籍（出身）学校の名称，及びその学校でとられていた具体的な修学上の配慮事項

カ. 日常生活の状況

【本学ホームページ：障害等のある入学志願者の事前相談】

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/previous.html>

(3) 連絡先・送付先

〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1番1号

福岡教育大学 入試課 TEL：0940-35-1235 E-mail：nyushi@fukuoka-edu.ac.jp

2. 一般選抜への出願について

学校推薦型選抜に不合格となった場合に備えて，本学を含めた国公立大学が実施する一般選抜（前期日程及び後期日程）に出願（出願期間は，令和7年1月27日（月）から2月5日（水）まで）することができます。

なお，各大学が指定した大学入学共通テストの教科・科目を受験する必要があります。〔本学へ出願する場合には，12月上旬に公表予定の，一般選抜にかかる「令和7年度学生募集要項」に基づいて手続をしてください。〕

3. 入学試験に関する注意事項

- (1) **国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除きます。以下同じ。）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合，課さない場合を含めて）へ出願することができるのは，1つの大学・学部のみです。**
- (2) 入学手続完了者で，令和7年3月までに高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業できない者は，入学を許可しません。
- (3) 合格者が所定の期日までに入学手続を完了しないときは，学校推薦型選抜合格者としての権利は消失します。
- (4) 合格者は，41ページ「**3. 入学の辞退**」で定める手続により入学の辞退を許可された場合を除き，他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。
- (5) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため，氏名，性別，生年月日，高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って，学校推薦型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

4. ノートパソコンの必携（BYOD）について

福岡教育大学では，「情報機器の操作」（必修授業科目）をはじめとした様々な授業や，レポートの作成，教育実習，卒業研究など，数多くの機会にパソコンとインターネットを活用します。そのため，令和4年度のエデュケーション学部新入生より，個人用ノートパソコンを必携（BYOD）としています。本学が推奨するノートパソコンの仕様については，本学ホームページに掲載しています。その他，ノートパソコンの必携に関する詳細については，合格者発表後にお知らせします。

【本学ホームページ：入学準備情報（BYOD）】

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/byod.html>

5. 入学者選抜試験個人成績の開示について

令和7年度学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱに係る受験者の個人成績は、本人の申請に基づき次のとおり開示します。

(1) 開示内容

○試験成績等

次の(a)(b)とします。

(a) 受験者の得点について

【学校推薦型選抜Ⅰ】

(ア) 実技検査等の合計得点を開示します。

【学校推薦型選抜Ⅱ】

(ア) 大学入学共通テストの合計得点を開示します。

(イ) 実技検査等の合計得点を開示します。

(b) 不合格者のランクについて

(ア) 不合格者の得点をA・B・C・Dの4段階に区分し、合格最低点からの不足分が20点未満の場合をA、20点以上40点未満の場合をB、40点以上60点未満の場合をC、60点以上の場合をDとします。

(イ) 合格最低点は合格者の最低点とします。

(2) 開示期間

令和7年5月1日(木)から令和7年6月30日(月)の間に簡易書留郵便で送付します。

※入試個人情報通知書は、出願時に入試個人情報通知書送付先の欄に入力された住所に郵送します。このため、出願時から開示期間終了までの間に転居等が予想される場合は、帰省先等、確実に通知書が受領できる住所を入力してください。**(高校・予備校の寮等の住所は記載しないでください。)**

※**令和7年6月頃発送の予定**です。6月中に届かない場合は入試課へご連絡ください。

※「宛先不明」等で返送された場合、本学で保管するのは令和8年3月末日までとします。

(3) 申込方法

・成績開示を希望する志願者は、インターネット出願登録の際、入試成績の開示請求の項目において「希望する」を必ず選択してください。

・**出願時に成績開示を希望しなかった場合は、出願後に成績開示を希望することはできません。**

・成績開示を希望する場合、開示請求手数料300円及び通知に係る郵送料460円を入学検定料と併せて支払う必要があります。

なお、入学検定料免除者の場合は、開示請求手数料も免除となりますが、通知に係る郵送料が必要となりますので、460円分の切手を出願必要書類と一緒に郵送してください。

【本学ホームページ：入学者選抜試験個人成績の開示について】

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/release.html>

(4) その他

令和6年度以前の入学者選抜に係る個人成績は開示しません。

6. 個人情報の利用について

個人情報の保護に関する法律に基づき、本学が入学選抜を通じて取得した個人情報につきましては、次の（１）の入学選抜に係わる業務のほか、（２）から（９）のとおり利用しますので、予めご了承ください。

- （１）国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、学校推薦型選抜の合格及び入学手続き等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ送達します。
- （２）合格者並びに追加合格者の住所・氏名等を入学手続きに係わる業務で利用します。
- （３）入学手続き者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- （４）入学手続き者の住所・氏名等を入学料並びに授業料徴収等の納入金管理に係わる業務で利用します。
- （５）入学選抜で取得した成績（「調査書」に記載されている成績を含む。）を、入学年度における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- （６）入学選抜を通じて取得した個人情報の一部又は全部を、個人が特定できない形で、統計処理等の付随する業務及び本学における教育改善のための調査研究で利用します。
- （７）（６）で得た統計処理等の結果や調査研究結果の一部又は全部を本学の教育研究活動、広報活動等の業務に利用する場合があります。
- （８）（６）及び（７）につきましては、データの電子化、印刷、製本等の業務を業者に委託する場合があります。
- （９）本学の関連団体である同窓会、学生自治会・後援会及び福岡教育大学生活協同組合から、入会者確認等の業務を円滑に行うことを目的とした資料提供を求める申し出があった場合、入学手続き者の氏名等、利用目的に限定した範囲での資料を提供する場合があります。

※本学が取得した個人情報は、個人情報の保護に関する法律第２７条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

7. 試験に関する問い合わせ先

学校推薦型選抜に関する照会については、下記に問い合わせてください。

〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町１番１号
福岡教育大学入試課
TEL 0940-35-1235 FAX 0940-35-1703

(参考) 過去3年間の学校推薦型選抜状況

年度	課 程		プ ロ グ ラ ム ・ 専 攻 等		募集人員		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	
令和４年度	推薦Ⅰ	初等教育教員養成課程	福岡県		26		48	48	26	26	1.8	
			佐賀県		17 (各県から 2～3名)		7	7	2	2	—	
			長崎県				9	9	3	3	—	
			熊本県				11	11	2	2	—	
			大分県				5	5	3	3	—	
			宮崎県				5	5	2	2	—	
			鹿児島県				13	13	3	3	—	
			沖縄県				5	5	2	2	—	
		幼児教育選修		6		36	36	9	9	6.0		
		中等教育教員養成課程	音楽専攻		5		20	20	5	5	4.0	
			美術専攻		5		6	6	5	5	1.2	
	保健体育専攻		6		14	14	6	6	2.3			
家庭専攻			2		8	8	2	2	4.0			
書道専攻			3		13	13	4	4	4.3			
特別支援教育教員養成課程	初等教育部		77		108	108	78	78	1.4			
推薦Ⅱ	初等教育教員養成課程		5		12	12	5	5	2.4			
計					152	320	320	157	157	—		
令和５年度	推薦Ⅰ	初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム		8		38	38	10	10	4.8	
			小学校教育専攻プログラム		24		107 (1)	107 (1)	26 (1)	26 (1)	4.5	
		中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	音楽専攻		5		21	21	5	5	4.2
				美術専攻		5		14	14	6	6	2.8
				保健体育専攻		6		14	14	7	7	2.3
				書道専攻		3		9	9	5	5	3.0
	推薦Ⅱ	初等教育教員養成課程	人文・社会教育プログラム		10		51	51	10	10	5.1	
			理数教育プログラム		15		25	25	15	15	1.7	
			芸術・実技教育プログラム	43	(音楽系科目)	10名程度	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	0.4	
					(美術系科目)	10名程度	1	1	1	1		
					(体育系科目)	10名程度	12	12	12	12		
					(家庭系科目)	8名程度	2	2	2	2		
		(技術ものづくり系科目)			5名程度	1	1	1	1			
	中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	家庭専攻	3		3	3	3	3	1.0		
	特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム		5		22	22	5	5	4.4		
計					127	322 (2)	322 (2)	110 (2)	110 (2)	—		
令和６年度	推薦Ⅰ	初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム		8		33	33	10	10	4.1	
			小学校教育専攻プログラム		24		95	95	25	25	4.0	
		中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	音楽専攻		7		12	12	7	7	1.7
				美術専攻		5		11	11	7	7	2.2
				保健体育専攻		6		21	21	8	8	3.5
				書道専攻		3		12	12	5	5	4.0
	推薦Ⅱ	初等教育教員養成課程	人文・社会教育プログラム		10		31	31	10	10	3.1	
			理数教育プログラム		15		34	34	15	15	2.3	
			芸術・実技教育プログラム	43	(音楽系科目)	10名程度	7	7	6	6	1.1	
					(美術系科目)	10名程度	1	1	1	1		
					(体育系科目)	10名程度	32	32	16	16		
					(家庭系科目)	8名程度	6	6	6	6		
		(技術ものづくり系科目)			5名程度	2	2	2	2			
	中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	家庭専攻	3		10	10	3	3	3.3		
	特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム		5		17	17	5	5	3.4		
計					129	324	324	126	126	—		

※()は追試験対象者で内数

大学所在地

〒811-4192

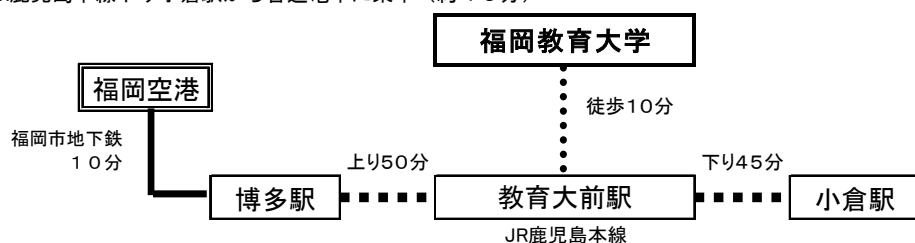
福岡県宗像市赤間文教町1番1号



【交通機関】

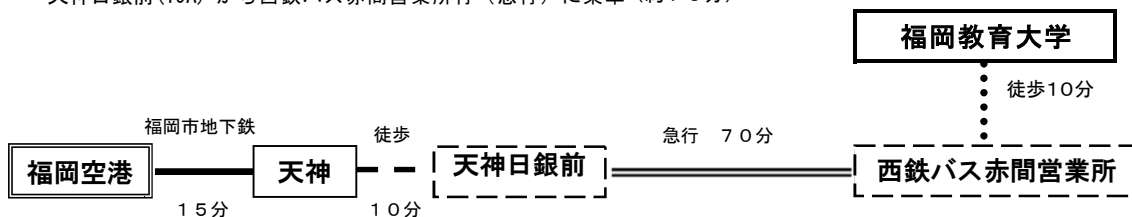
○JR利用の場合

- ・JR鹿児島本線上り博多駅から普通電車で乗車（約50分）
- ・JR鹿児島本線下り小倉駅から普通電車で乗車（約45分）

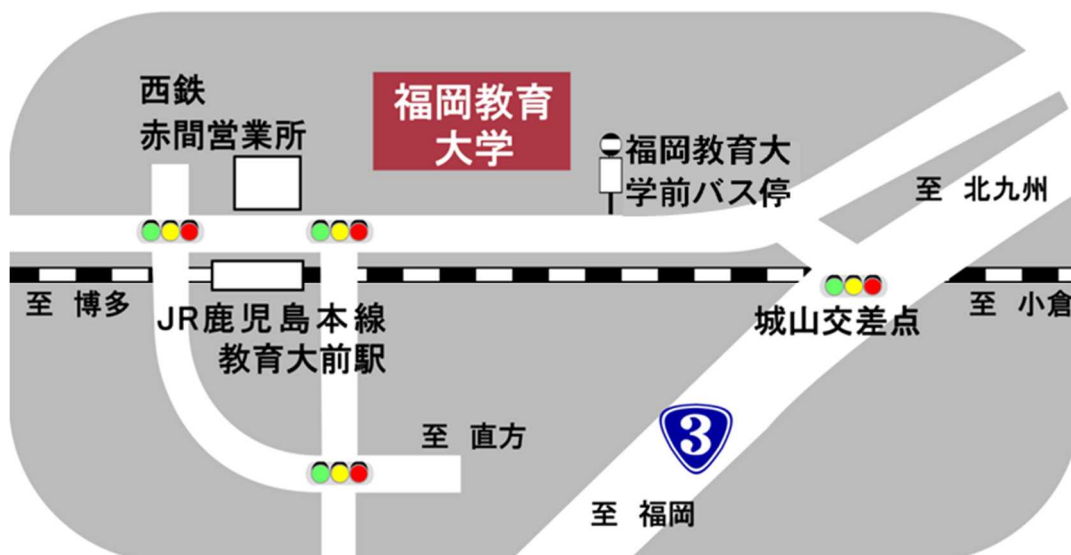


○西鉄バス利用の場合

- ・天神日銀前(19A)から西鉄バス赤間営業所（急行）に乗車（約70分）



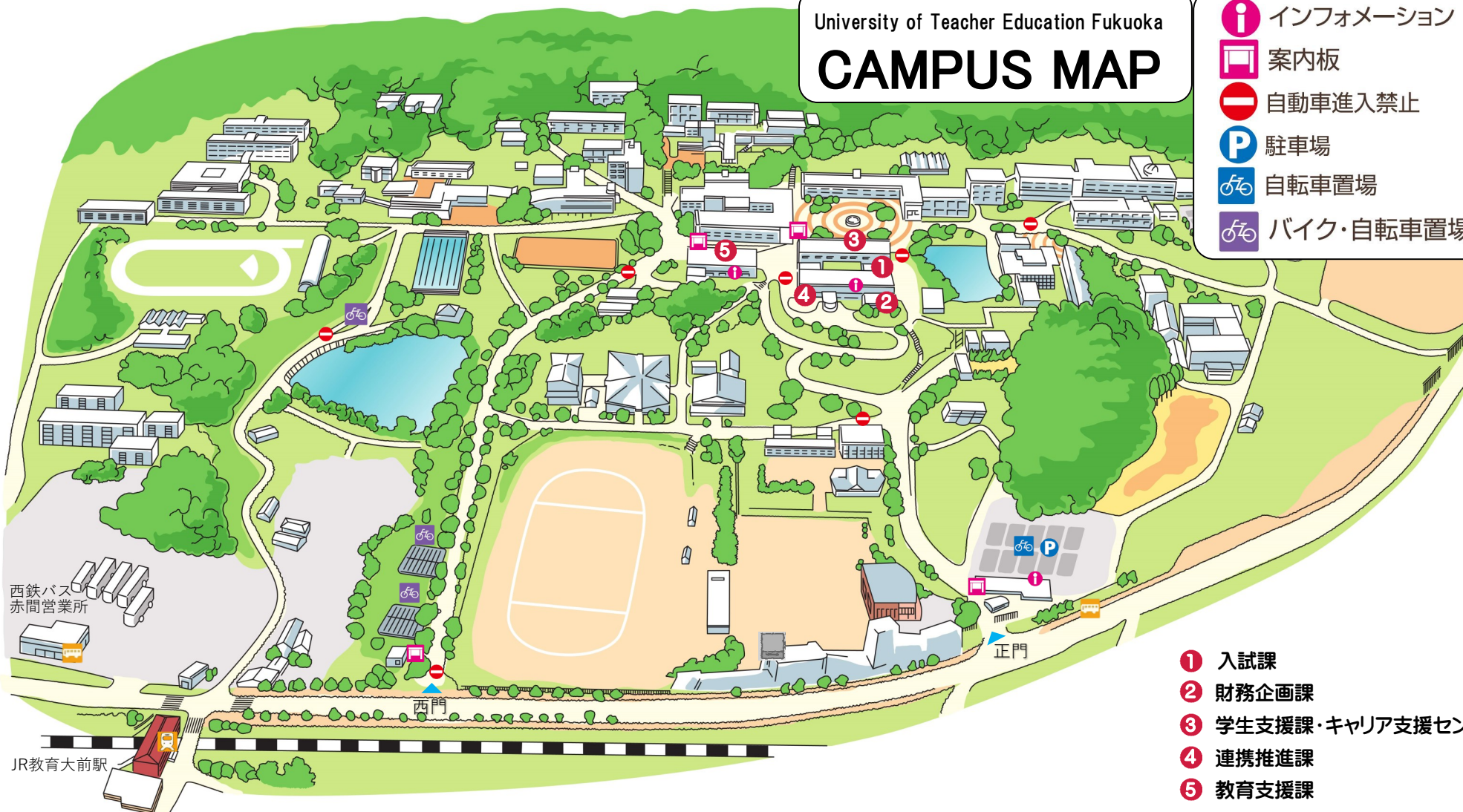
【周辺道路地図】



University of Teacher Education Fukuoka

CAMPUS MAP

-  インフォメーション
-  案内板
-  自動車進入禁止
-  駐車場
-  自転車置場
-  バイク・自転車置場



- ① 入試課
- ② 財務企画課
- ③ 学生支援課・キャリア支援センター
- ④ 連携推進課
- ⑤ 教育支援課

福岡教育大学各種お問い合わせ先

- 授業、カリキュラム、免許等について・・・TEL：0940-35-1229（教育支援課）
- 教育実習等について・・・TEL：0940-35-1233（教育支援課）
- 学生生活、課外活動、学生寮等について・・・TEL：0940-35-1754（学生支援課）
- 奨学金、入学料、授業料減免等について・・・TEL：0940-35-1239（学生支援課）
- 留学・国際交流について・・・TEL：0940-35-1247（連携推進課）
- 就職支援（教職関係）について・・・TEL：0940-35-1249（キャリア支援センター）
- 就職支援（企業、公務員関係）等について・・・TEL：0940-35-1241（キャリア支援センター）
- 授業料等の納入関係について・・・TEL：0940-35-1222（財務企画課）
- 入試全般・・・TEL：0940-35-1235（入試課）